



神奈川県

県立図書館

令和5年度

神奈川県立図書館事業要覧

令和5年度 県立図書館運営方針
令和4年度 事業報告

神奈川県立図書館

Kanagawa Prefectural Library

基本理念

神奈川県立の図書館は、
「知」を集積し、新たな「知」を育む「価値創造」の場として、
神奈川の文化と産業の発展、社会づくりに寄与します。

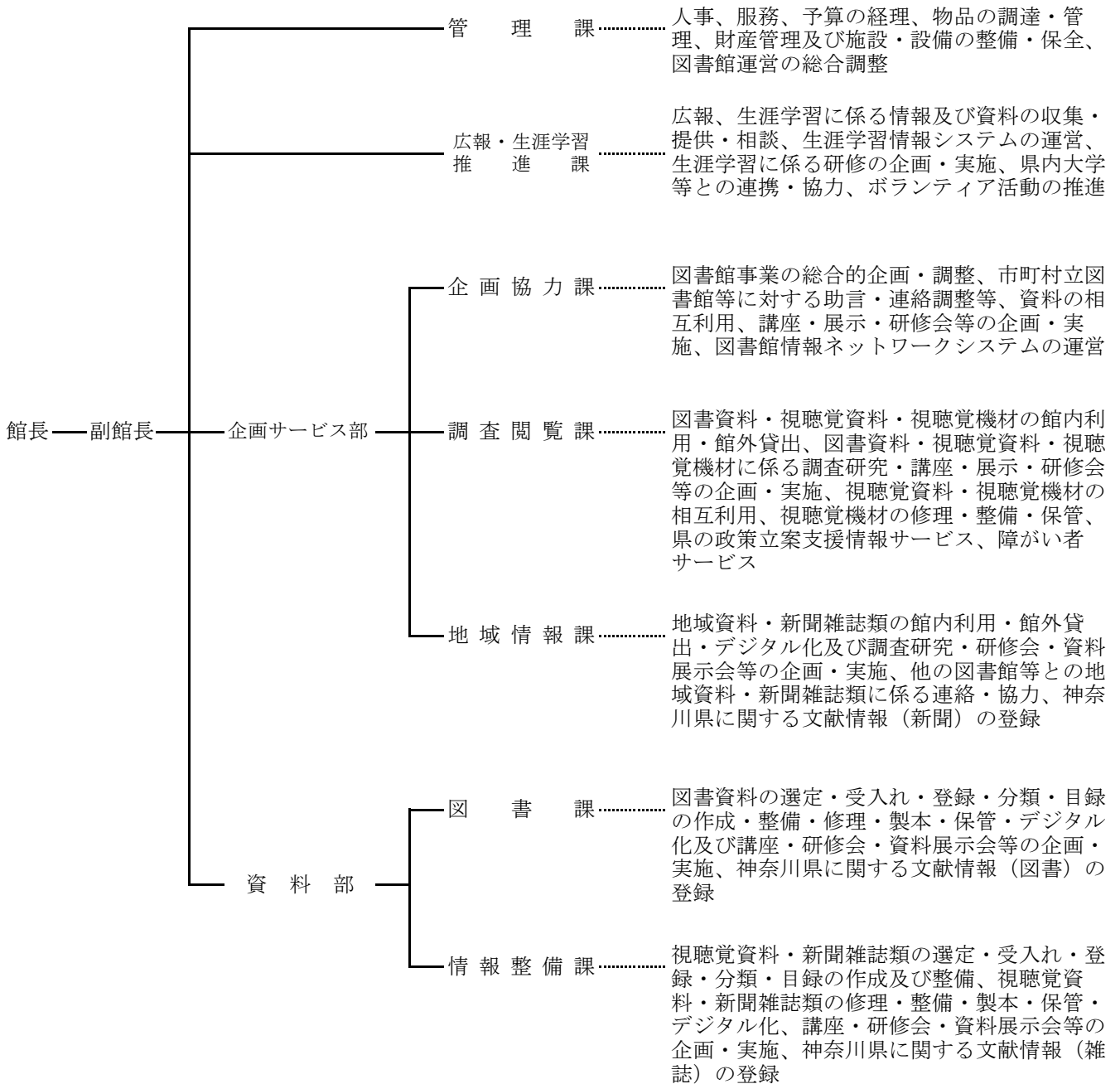
目 次

1	組織	1
(1)	組織図（令和5年4月1日現在）	1
(2)	職員の配置状況（令和5年4月1日現在）	2
2	沿革	3
3	施設の概要（令和5年4月1日現在）	5
4	令和5年度 県立図書館運営方針	6
(1)	県立の図書館の基本理念	6
(2)	基本方針（令和4年度～令和7年度）	6
(3)	令和5年度 重点項目	7
(4)	新型コロナウイルス感染症への対応について	11
(5)	図書館活動の評価と目標（令和5年度）	12
(6)	事業体系図（令和5年度）	14
(7)	事業計画（令和5年度）	15
5	予算・決算	26
(1)	令和5年度予算	26
(2)	令和4年度決算	26
6	令和4年度 事業報告	27
(1)	資料収集・整備	27
ア	資料・情報の収集	
イ	資料・情報の整備	
(2)	資料・情報の提供	30
ア	基本的なサービス	
イ	特色あるサービス	
(3)	連携・協力事業	33
ア	図書館ネットワークシステム	
イ	連携・協力	
ウ	図書館人材の育成	
エ	関係団体等業務	
(4)	広報・普及活動	37
ア	広報活動	
イ	刊行物の発行	
ウ	講座等開催事業の実施	
(5)	図書館運営の条件整備	42
ア	運営状況の点検・評価	
イ	施設の整備	
(6)	生涯学習事業の展開	44
ア	「PLANETかながわ」等による生涯学習情報の収集・提供、学習相談	
イ	大人がはじめる学び方講座の開催	
ウ	かながわ大学生涯学習推進協議会を中心としたネットワークの推進	
エ	生涯学習指導者等研修	
オ	体験活動・ボランティア活動の支援	
(7)	近隣公共施設との連携	45
(8)	県立図書館の再整備の推進	45
(9)	新型コロナウイルス感染症拡大予防対策	46
7	活動評価（令和4年度の概要）	47

1 組織

(1) 組織図

令和5年4月1日現在



(2) 職員の配置状況

令和5年4月1日現在

部課名	職名																合計	
	館長	副館長	部長	課長	副主幹	主任査査	主任司書	主任主事	主任主事	司書	課長(再任用)	主査(再任用)	主事(再任用)	司書(再任用)	小計	臨任職員		会計年度任用職員
館	1※1														1※1			1※1
副館	長														0			0
管理課				1	1			1	1					1			10	15
広報・生涯学習推進課					1			1	1		1		1		5		5	10
企画サービス部	部長		1												1			1
	企画協力課				1	1	1	3							9	2	8	19
	調査閲覧課				1	2	2	2							10	2	11	23
	地域情報課				1	1		1							4	1	8	13
	小計			1	3	4	3	6							24	5	27	56
資料部	部長		1												1			1
	図書課				1	1		1							5	2	7	14
	情報整備課				(1)※2	2							1	1	5		6	11
	小計			1	1	3		1					1	1	11	2	13	26
合計	1※1	0	2	5	9	3	7	2	2	10	1	2	1	1	46	7	55	108
うち司書職員数			2	4	7	3	7			10		1		1	35	7	39	81

会計年度任用職員55人の内訳 事務 10人 技術 1人(自動車運転) 司書39人
技能 5人(保安 4人、営繕技能 1人)

- ※1 館長は教育局副局長と兼務。
- ※2 情報整備課長は資料部長が兼務。

[職種内訳]常勤職員(再任用職員を含む)

事務職	11人(男6人、女5人)
司書職	35人(男6人、女29人)
合計	46人(男12人、女34人)

2 沿革

昭和29年10月1日	神奈川県立図書館条例（昭和29年条例第49号）、神奈川県立図書館組織規則（昭和29年教委規則第8号）、同規則施行規程（昭和29年訓令第2号）施行 5課10係制
昭和29年11月10日	図書館・音楽堂一般利用開始
昭和33年4月1日	相談室を開設、参考奉仕業務を開始
昭和33年11月1日	神奈川県立図書館条例（昭和33年条例第32号）施行、旧神奈川県立図書館条例廃止
昭和34年4月3日	移動図書館車による市町村への館外奉仕業務開始
昭和43年10月5日	当館所蔵資料の複写サービス業務開始
昭和44年8月8日	団地、新興住宅地に対する館外奉仕業務開始
昭和45年4月21日	神奈川県立の図書館の利用等に関する規則（昭和45年教委規則第3号）及び同施行規程（昭和45年訓令第3号）施行
昭和47年8月1日	文化資料館併置（神奈川県立図書館条例の一部改正） 神奈川県立図書館組織規則（昭和47年教委規則第13号）施行 6部12課制、旧組織規則及び旧規則施行規程廃止
昭和47年8月16日	文化資料館の一般利用開始
昭和49年8月1日	神奈川県立図書館組織規則一部改正、神奈川県立図書館組織規程（昭和49年訓令第6号）施行 6部13課10係制
昭和49年10月1日	ほんとおはなしこどもきやらばん事業開始
昭和51年10月1日	農業会館内に平塚駐在事務所を開設
昭和55年4月1日	図書館協力車事業開始
昭和56年6月1日	係制廃止に伴い神奈川県立図書館組織規程廃止 6部13課制
昭和58年3月31日	平塚駐在事務所廃止
昭和59年3月31日	移動図書館車による館外奉仕業務廃止、ほんとおはなしこどもきやらばん事業廃止
昭和59年4月1日	神奈川県立図書館組織規則（昭和59年教委規則第4号）施行 6部13課制
平成2年4月24日	神奈川県図書館情報ネットワークシステム（K L - N E T）一部稼動 （資料検索・外部データベース利用の開始）
平成3年4月16日	同上本格稼動
平成5年11月1日	文化資料館廃止（神奈川県立図書館条例の一部改正） 神奈川県立図書館組織規則の一部改正 5部12課制
平成7年4月1日	音楽堂を県民部に移管（神奈川県立図書館条例の一部改正） 神奈川県立図書館組織規則の一部改正 4部10課制
平成10年4月1日	館内整理休館日を毎月第二木曜日に（神奈川県立の図書館の利用等に関する規則の一部改正）
平成11年6月1日	図書館資料の費用弁償規程の追加（神奈川県立の図書館の利用等に関する規則の一部改正）
平成13年3月30日	祝日開館の実施（神奈川県立の図書館の利用等に関する規則の一部改正）
平成16年11月11日	神奈川県立図書館開館50周年記念式典開催
平成18年4月1日	神奈川県立図書館組織規則の一部改正 4部9課制
平成20年4月1日	月曜祝日開館の実施（神奈川県立の図書館の利用等に関する規則の一部改正）
平成21年3月1日	隣接する元紅葉ヶ丘高等職業技術校を収蔵庫として利用開始
平成22年4月1日	神奈川県立図書館組織規則の一部改正 2部6課1駐在事務所制 「生涯学習情報センター」を生涯学習課から移管
平成22年5月20日	本館屋上に太陽光発電装置を設置
平成22年10月1日	「生涯学習情報センター」における図書館サービスを拡張
平成24年3月15日	本館外壁ブロックを解体・復元
平成25年3月1日	生涯学習情報システム（P L A N E Tかながわ）を更新
平成26年3月31日	横浜駐在事務所「生涯学習情報センター」（かながわ県民センター5階）を廃止
平成26年4月1日	神奈川県立図書館組織規則の一部改正 2部7課制 新館1階に生涯学習サポートコーナーを開設 かながわ県民センター9階に「県立図書館横浜西口カウンター」を設置
平成27年1月	県立かながわ女性センターからの図書資料受入準備に伴い、新館4階かながわ資料室、同3階新聞・雑誌室を休室（1月19日から）、自習室を廃止（1月26日）
平成27年2月17日	県立かながわ女性センターから図書資料等受入（約8万4千冊）
平成27年3月17日	新館3階に「かながわ資料/新聞・雑誌室」をリニューアルオープン、同4階に「セミナールーム」開設
平成27年4月14日	「女性関連資料室」開室
平成27年10月1日	神奈川県行政資料アーカイブ開設
平成28年3月30日	神奈川県郷土資料アーカイブ開設
平成30年4月1日	神奈川県立図書館規則の一部改正 生涯学習サポート課を広報・生涯学習推進課に改正
令和元年9月11日	本館外構等改修

令和2年3月27日	新棟建設のため収蔵庫除却
令和2年4月12日	新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく「緊急事態宣言」を踏まえ臨時休館（5月31日まで）。
令和3年4月1日	神奈川県図書館情報ネットワーク(KL-NET)の全面的な再構築となる新システムの稼働を開始
令和3年8月13日	本館が神奈川県指定重要文化財に指定
令和4年4月1日	本館を「前川國男館」、新館を「収蔵館」、新棟を「本館」と名称を変更
令和4年4月12日	令和4年9月の本館開館準備に伴い、開館までの間、臨時閲覧室を開室し、図書館サービスを一部縮小（8月14日まで）
令和4年6月1日	電子書籍サービスを開始
令和4年9月1日	本館開館

3 施設の概要

令和5年4月1日現在

(1) 本館

- ア 所在地 横浜市西区紅葉ヶ丘44
 イ 土地 敷地面積 1,889.38㎡
 ウ 建物 延床面積 3,759.78㎡
 鉄筋コンクリート造、地上4階
 ギャラリー、ライブラリーショップ、リフレッシュエリア
 静寂読書室、ザ・リーディングラウンジ、オープンテラス
 学び⇄交流エリア、ディスカッションルーム、研究ブース
 研究個室、公開書庫、閉架書庫、閲覧スペース（座席数：330席）

(2) 前川國男館・收藏館

- ア 所在地 横浜市西区紅葉ヶ丘9-2
 イ 土地 敷地面積 5,762.2㎡
 ウ 建物 総延床面積 12,130.26㎡
 前川國男館 鉄筋コンクリート造、地上2階、地下1階、延床面積3,015.62㎡
 館長室、管理課/広報・生涯学習推進課事務室
 收藏館 鉄骨鉄筋コンクリート造、地上4階、地下3階、延床面積9,114.64㎡
 企画サービス部・資料部事務室、会議室、協力室、セミナールーム

	(本館)	(收藏館)	(前川國男館)
4階	学び⇄交流エリア ディスカッションルーム 研究ブース 研究個室 生涯学習相談デスク オープンテラス	セミナールーム 書庫	
3階	閲覧スペース 公開書庫 ザ・リーディングラウンジ オープンテラス	研修室 書庫	
2階	閲覧スペース 公開書庫 レファレンスデスク 静寂読書室 リフレッシュエリア 閉架書庫	事務室（企画サービス部 /資料部） 会議室 書庫	館長室 事務室（管理課/広報・生涯学習推進課） 書庫
1階	閲覧スペース 公開書庫 総合カウンター ギャラリー ライブラリーショップ リフレッシュエリア	協力室 会議室 書庫	書庫
地下1階		書庫	

4 令和5年度 県立図書館運営方針

(1) 県立の図書館の基本理念

神奈川県立の図書館は、「知」を集積し、新たな「知」を育む「価値創造」の場として、神奈川の文化と産業の発展、社会づくりに寄与します。

(2) 基本方針 令和4年度～令和7年度

人生100歳時代を迎え、県民一人ひとりが生涯にわたり、生き生きと充実した人生を送ることができるよう、それを支える学びや社会参加等を支援することを目的とし、次の基本方針を定める。

ア 「県立図書館の再整備に向けた基本的な考え方」に基づき、本館の運営を行い、また前川國男館、収蔵館の改修等の再整備の検討を進め、具体化していくとともに、戦略的な姿勢を持ち、音楽堂、青少年センターなど近隣の文化施設等と連携し、新たな利用者層を掘り起こすことに努める。

イ 人文・社会系のリサーチライブラリーとして、神奈川の歴史的背景や立地条件に留意し、生涯を通じた学びと研究や地域の課題解決に必要な資料、情報を、電子化されたものも含めて収集・保存するとともに、適切かつ快適な環境で提供する。また、現代（いま）と未来の地域づくりに貢献する「知の拠点」を築くとともに、利用者の「調査研究活動」を支援する質の高い図書館サービスを展開して「価値創造」に結びつけ、「人生100歳時代の人づくり・社会づくり」に寄与する。

ウ 所蔵資料を活用した館内展示や講座などを企画・開催し、県立の図書館ホームページを始めとする様々なメディアを活用した発信に努め、人々の知的好奇心に応える多彩で魅力的な「知の機会」を提供する。

エ 県立川崎図書館との機能及びサービスの分担のもと、共に補完し合いながら県立の図書館として一体的な運用を行う。

オ 「神奈川について調べるなら、県立図書館へ」という県民の信頼に応えるため、神奈川に関する資料の収集を一層強化し、県の記録と記憶の蓄積を図るとともに、神奈川県とその関連機関などが作成する電子化された行政資料や調査研究向け各種資料等の収集、提供を積極的に行う。

カ 蓄積した資料を後世に確実に継承し、将来にわたる利用を担保するため、媒体変換（デジタル化）などの資料再整備を推進する。

キ 図書館利用に障がいのある人々（障がい者、高齢者、外国人など）に配慮し図書館の施設、資料、情報をより利用しやすくなるよう、個々の状況に応じ、工夫してサービスの提供を進める。

ク 市町村立図書館の支援に力を注ぎ、大学図書館、高校図書館、専門機関等ともより密接な連携を図って、資料の相互貸借や図書館職員の人材育成などに努め、県域全体を支える図書館としての機能を充実させる。

ケ 図書館活動について常に「P<計画>→D<実施>→C<点検（評価）>→A<見直し>」のサイクルで業務の見直しを図り、運営の持続的な改善を行う。また、県民・利用者の意見・要望を真摯に受け止め、「開かれた図書館」「神奈川らしい新たな県立の図書館」の創造に努める。

（3） 令和5年度 重点項目

ア 県立図書館の再整備

令和4年9月1日に開館した本館を円滑に運営するとともに、「県立図書館の再整備に向けた基本的な考え方」に基づき、収蔵館、前川國男館の整備について、「価値を創造する図書館」等、県立図書館の新たな魅力を引き出すための機能の検討を進める。また、従来からの専門的図書館、広域的図書館としての果たすべき役割等についても引き続き検討を進めていく。

→事業計画関連項目

「⑧県立図書館の再整備の推進」 p25

イ 県民の「学び直し」を応援

人生100歳時代において、県民の生涯を通じた学びと探求のきっかけづくりや「学び直し」を支援するため、多彩な講座を開催するとともに、関連した「学び直し支援資料」の整備を行う。

→事業計画関連項目

「①資料収集・整備 ア資料・情報の収集（ア）図書の収集、（イ）逐次刊行物（新聞、雑誌、年鑑、年報等）の収集、（ウ）映像・音響資料の収集」 p15

「④広報・普及活動 ウ講座等開催事業の実施（ア）講座等の開催」 p23

「⑥生涯学習事業の展開（イ）大人がはじめる学び方講座の開催」 p25

ウ かながわ資料の収集強化

県民の調査研究活動に資するため、広く情報収集を行い、市販されていない資料や電子化された資料も含めた多様な資料の収集をより一層強化し、地域資料を充実させる。

→事業計画関連項目

「①資料収集・整備 ア資料・情報の収集（ア）図書の収集、（イ）逐次刊行物（新聞、雑誌、年鑑、年報等）の収集、（ウ）映像・音響資料の収集」 p15

「①資料収集・整備 イ資料・情報の整備（ア）資料の整理、点検、修理、製本」 p16

エ 非来館型サービスの充実

県民の学びを支援するため、館外貸出できない参考図書（辞書・事典類）を中心に、電子書籍サービスの充実を図る。

また、所蔵資料等のデジタル化及び公開に取り組む「神奈川県立図書館デジタルアーカイブ」並びにデジタル化された県の行政資料の収集、公開を行う「神奈川県行政資料アーカイブ」の充実を図るとともに、利用促進のPRを進める。

令和3年5月に成立・公布された「著作権法の一部を改正する法律」により、令和5年6月1日に施行された「図書館等公衆送信サービス（図書館資料のメール送信サービス）」について、実施可能な条件等を調査し検討する。

→事業計画関連項目

「①資料収集・整備 ア資料・情報の収集（エ）その他の資料（電子書籍等）の収集」 p16

「①資料収集・整備 イ資料・情報の整備（オ）神奈川県立図書館デジタルアーカイブの整備、（カ）神奈川県行政資料アーカイブの整備」 p16

「②資料・情報の提供 イ特色あるサービス（ア）かながわ資料の提供、（オ）電子書籍サービスの提供」 p18

オ 視聴覚資料の整備と有効活用

県民の知的財産となりうる優れた映像・音響資料を収集するとともに、団体等からまとめて寄贈された各種視聴覚資料の整備を進め、その有効活用を図る。

→事業計画関連項目

「①資料収集・整備 ア資料・情報の収集（ウ）映像・音響資料の収集」 p15

「①資料収集・整備 イ資料・情報の整備（ア）資料の整理、点検、修理、製本」 p16

カ 資料利活用のための保存機能の強化

貴重な収蔵資料を確実に将来に引き継ぐとともに、現在から将来にわた

る利活用を保障するため、資料の保存対策を検討、実施する。

→事業計画関連項目

「①資料収集・整備 イ資料・情報の整備（ア）資料の整理、点検、修理、製本」 p16

「③連携・協力事業 イ連携・協力（ウ）雑誌等の県内公共図書館分担保存・活用の推進」 p20

キ 障がいのある人々へのサービスの向上

全ての人々が、利用しやすい施設であるように、館内の案内サイン、外国語の利用案内などの整備に努めるとともに、「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律（読書バリアフリー法）」の理念に基づきサービスの向上を目指す。

また、県内の障がい者に対するサービス状況の調査を引き続き実施し、その活用を図る。

→事業計画関連項目

「②資料・情報の提供 ア基本的なサービス（カ）障がい者サービス」 p17

ク 行政支援サービス

神奈川の地域課題の解決や未来の社会づくりに貢献し、行政実務の遂行を支援するため、図書館からの資料提供やレファレンスによる情報提供を行う。

→事業計画関連項目

「②資料・情報の提供 イ特色あるサービス（カ）行政情報支援」 p18

ケ レファレンスサービス

県民の学びと探求に応えられるように、レファレンスツールとなる資料の集積や、オンラインデータベースの利活用推進を図り、様々な機会を利用して職員のレファレンス能力の向上に努める。またサービスの内容やその成果についての広報を強化し、「国立国会図書館レファレンス協同データベース」への事例提供を引き続き進める。

→事業計画関連項目

「②資料・情報の提供 ア基本的なサービス（ア）レファレンスサービス」 p17

コ 図書館専門職員の人材育成

県域全体で質の高い図書館サービスを提供するため、市町村立図書館、県立学校図書館、専門図書館等の職員の能力開発や人材育成支援について、関係機関との連携の下に積極的に取り組むとともに、他館の勤務経験のある職員のノウハウも業務運営に反映するよう努めていく。

→事業計画関連項目

「③連携・協力事業 ウ図書館人材の育成（ア）市町村図書館等職員（基礎・専門）研修の実施、（イ）人材育成方策の企画」 p21

「⑤図書館運営の条件整備 ア運営状況の点検・評価（エ）職員の研修」 p24

サ 新図書館情報システムの安定的な運用と図書館情報ネットワークの拡充
令和3年4月に更新した新システムの安定的な運用に努めるとともに、
ネットワーク加盟館にも十分な支援を行う。

また、ネットワークに未参加の専門図書館や大学図書館について参加を働きかけることで、ネットワークを広げ、県内の各種図書館間の連携・協力を充実させるよう取り組む。

→事業計画関連項目

「③連携・協力事業 ア図書館ネットワークシステム（ア）図書館情報ネットワークシステムの推進、（イ）県内公共図書館等横断検索サービス等の提供、（ウ）「神奈川県内公共図書館購入継続雑誌・新聞総合目録」の整備」 p19

「③連携・協力事業 イ連携・協力（ア）図書館資料搬送システムの運営・改善検討、（イ）都道府県立図書館等との相互利用の推進、（エ）大学図書館との連携、協力の推進」 p19

シ ホームページ等による広報・情報発信

図書館の全体像を紹介し来館、非来館を問わず、新たな利用者層を掘り起こすための戦略的PRメディアとして、ホームページやX（旧Twitter）、Instagramを活用する。自館作成の刊行物や県の広報媒体など、各種のメディアを使って情報発信に努める。

→事業計画関連項目

「④広報・普及活動 ア広報活動（エ）ホームページ等による広報・情報発信」 p22

ス 生涯学習事業の展開

生涯学習に必要な幅広い情報を収集し、生涯学習情報システム「PLANETかながわ」及びその後継事業のツールである生涯学習情報ウェブサイト「学びstyleかながわ」を使って情報提供の充実に努めるとともに、大学の公開講座や社会人入学等を含めた学習相談や図書館事業と連携した情報提供、県内大学との連携の促進などにも積極的に取り組んでいく。また、再整備を進める中で、県立図書館ボランティア受入れ事業を新たに進めていく。また、「学びstyleかながわ」の定期的な更新や見直しを図りながら、県の生涯学習推進に資する情報を継続して提供していく。

→事業計画関連項目

「⑥生涯学習事業の展開（ア）生涯学習情報ウェブサイトのリニューアル等による、生涯学習の普及啓発や継続支援、学習相談、（ウ）かながわ大学生涯学習推進協議会を中心としたネットワーク

の推進、（エ）生涯学習指導者等研修、（オ）体験活動・ボランティア活動の支援」p24

セ 近隣公共施設との連携

紅葉ヶ丘地区にある公共施設5館（県立音楽堂、県立青少年センター、県立図書館、横浜市民ギャラリー、横浜能楽堂）が協力しながら、各施設が連携した事業を展開するとともに、各施設の魅力を効果的に発信することによって、紅葉ヶ丘一帯としての認知度を高め、新たな利用者層の拡大を図っていく。

→事業計画関連項目

「⑦近隣公共文化施設との連携」p25

（4） 新型コロナウイルス感染症への対応について

令和5年5月8日以後、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、「県立の図書館における新型コロナウイルス感染症拡大予防対策ガイドライン」（県教育委員会作成）に基づき策定した「県立図書館における新型コロナウイルス感染症拡大予防対策マニュアル」は廃止し、館内の換気、消毒液の設置など、必要な感染対策を講じつつ通常開館していく。

(5) 図書館活動の評価と目標（令和5年度）

令和5年度も、引き続き県立の社会教育施設共通の評価項目と図書館独自の評価項目の2体系で、図書館評価を実施する。

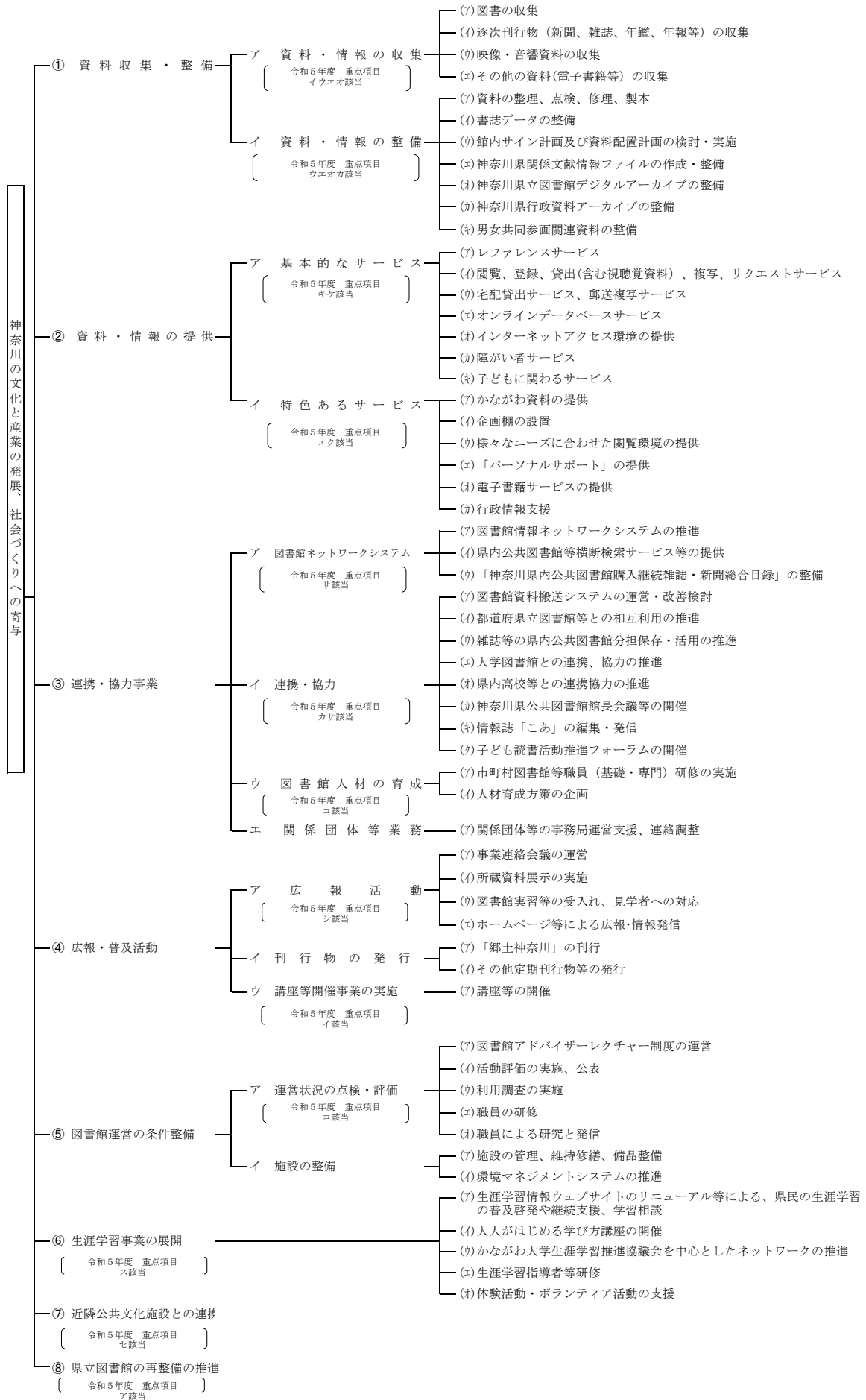
ア 社会教育施設評価書の全館共通項目（5区分11項目 当館は10項目）

	評価項目	目標値	備考
利用 状 況	利用者満足度	85 %	利用者アンケートより、「全般的な満足度」平均点を基に算出
	入館者	227,000人	年間入館者数
	教育・普及事業への参加者	1,100人	当館が開催する講座等イベントの参加者数
	インターネットアクセス	県立図書館ホームページ 1,249,000件 PLANETかながわ、 学びstyleかながわ 73,000件	県立図書館ホームページ及び PLANETかながわ、学びstyleかなが わへのアクセス件数
資料・ 収 蔵 品	活用	3,000点	展示利用件数及び撮影・資料掲載数
	維持管理	資料の棄損を防止する	資料が棄損しないよう、防止対策を講じる
調 査 研 究	研究成果の公開 (発表・印刷物等)	56件	職員の日頃の研究活動及び成果の発信状況を表す文献等の執筆、 国立国会図書館「レファレンス協同データベース」での事例公開件数、 研修会の講師、研究集会での発表等の件数
情 報 発 信	事業情報の発信	510件	当館の活動・取組みの発信数 (ホームページ、SNS、定期刊行物 等各種広報媒体)
施 設 運 営 等	観覧料及び事業等収入（図書館は除く）	—	—
	施設点検	障がい者、高齢者、外国人など、図書館利用に障がいのある人々への配慮	ユニバーサルデザイン化、高齢化、国際化等への対応
	自己研鑽及び他館の研究	資料への知識、レファレンス能力、効果的な広報スキルなど専門的能力の向上	館内研修や館外研修への参加 県内外図書館の見学

イ 個別項目（6区分16項目）

	評価項目	目標値	備考
資料収集・整備	かながわ資料受入（寄贈等）	1,900冊	購入以外のかながわ資料受入冊数
	資料のデジタル化	480件	行政資料アーカイブ、神奈川県立図書館デジタルアーカイブの登録ファイル数
資料・情報の提供	レファレンスサービス	5,800件	個人及び県機関、県立高校等からのレファレンス件数
	貸出数	85,000冊	当館所蔵資料の個人利用者への貸出冊数
	書庫内資料の提供	44,000点	書庫内の資料をカウンターで利用者へに提供した点数
	職員対応満足度	87%	利用者アンケートより、「職員対応満足度」平均点を基に算出
サービス 非来館型	電子書籍の提供	5,900件	電子書籍の閲覧件数
	デジタルアーカイブの提供	24,500回	行政資料アーカイブ、神奈川県立図書館デジタルアーカイブの利用回数
連携・協力事業	県内市町村図書館等への資料提供	110,000冊	県立図書館を通じての県内市町村図書館等への貸出数
	上記のうち当館所蔵資料の提供	8,900冊	上記のうち当館所蔵資料の貸出数
	県外図書館等への貸出	390冊	県外図書館等への貸出数
	県機関等への資料支援	450冊	県機関、県立高等学校等への貸出数
	図書館職員の人材育成	12件	市町村図書館職員、県立高等学校司書等への研修件数
広報・普及活動	企画展示の実施	134回	テーマによる資料展示を行った回数
	見学、職業体験等の受入	12件	見学、職業体験、実習、インターンシップ等の受入れ件数
生涯学習 事業	生涯学習情報提供	3,000件	配架した生涯学習関連情報の件数

(6) 事業体系図(令和5年度)



(7) 事業計画 (令和5年度)

① 資料収集・整備

ア 資料・情報の収集

(ア) 図書の収集

「神奈川県立図書館資料収集要綱」及び「資料選定基準」に基づき、社会科学及び人文科学分野の図書を重点的に収集する。県立川崎図書館や県内市町村立図書館等との役割分担を踏まえ、調査研究に資するような専門図書を中心に収集する。県の政策課題に関する資料、県民の「学び直し」に必要な資料の収集に留意する。当館が継続して収集している全国の自治体史についても、引き続き収集に努める。また、読書バリアフリー法への対応の一環として、LLブック(※)の収集を継続して行う。

(※LLブックとは、様々な事情で一般の本を読むことが難しい、青少年以上の人が読書を楽しみ、情報を得ることができるよう出版されたもの。)

図書のうち、かながわ資料については、県全域にわたり地域の現状が分かる資料、歴史として保存するに相応しい資料を、あらゆる分野に目配りして収集する。地域研究に必要な周辺関連資料にも留意する。かながわ資料は、市販の流通ルートに乗らないものも多いため、新聞記事等の刊行情報に注意を払い、購入及び寄贈の両面で収集を行う。

また、男女共同参画に関する資料については、LGBTQ、女性労働や男女共同参画社会、人権等、あらゆる分野に目配りして収集していく。

(イ) 逐次刊行物(新聞、雑誌、年鑑、年報等)の収集

内外の最新情勢や専門的な知見を提供し、県民の調査研究活動に資するため、社会科学及び人文科学分野の逐次刊行物を収集し、整備する。特に法律・経済関連の専門的・学術的情報の収集を強化する。また、市町村立図書館等では入手困難な学術報告や大学紀要等の非売資料を寄贈依頼や資料交換により収集する。かながわ資料については、県内で刊行される逐次刊行物に留意し充実を図る。

(ウ) 映像・音響資料の収集

将来にわたって県民の知的財産となりうる、価値が高く記録性・芸術性に優れた映像・音響資料を収集し、整備する。技術の進展によるメディアの変化が激しい資料であり、種類も多様であることから、現在一般的に通用しているものを中心に収集する。その上で、図書資料を補完し、組み合わせることで理解が深まるような内容の資料を選択し収集する。神奈川に関連する資料に留意し、かながわ資料の充実を図る。

(エ) その他の資料（電子書籍等）の収集

県民の学びを支援するため、調査研究に役立つ参考図書（辞書・事典類）を中心とした電子書籍を引き続き選択する。

イ 資料・情報の整備

(ア) 資料の整理、点検、修理、製本

収集した資料を利用しやすいように整理し、その後の維持管理を行う。蔵書点検については、IC タグを利用して計画的に行っていく。資料の保存処置については、資料の補強、保存箱作成、修理等を、資料の状態・価値・利用状況・費用対効果等を総合的に判断して実施していく。

県公報や新聞等の製本を、保存上の耐用性と利用状況を勘案しながら実施する。

(イ) 書誌データの整備

新規に受け入れる資料の書誌データを作成し、当館ホームページに公開する。図書資料については、主にトーハン MARC（㈱トーハン提供）、JAPAN/MARC（国立国会図書館提供）などの MARC（コンピュータ用図書目録）データを基に作成する。MARC がない資料については、当館独自の書誌データを作成する。既成の MARC を使用した場合でも、個人件名、内容注記等を付加し、レファレンスツールとして引き続き充実させていく。

(ウ) 館内サイン計画及び資料配置計画の検討・実施

居心地の良さと使いやすさの両立を目指した資料の配置・サインの設置を行っていく。

書庫については、収蔵館・前川國男館の再整備により資料の移動が生じることから、利用への影響をなるべく抑えられるよう、外部書庫も含めた資料配置を行っていく。

(エ) 神奈川県関係文献情報ファイルの作成・整備

県立川崎図書館と共同して、所蔵資料より神奈川県に関する新聞記事、雑誌論文、図書の記述部分等を選択し、その索引データをデータベース化してインターネットで公開することにより、県民が地域情報を迅速かつ広範に検索・入手できる環境を整える。

(オ) 神奈川県立図書館デジタルアーカイブの整備

所蔵資料等のデジタル化を進めてコンテンツを充実させるとともに、利用促進を図っていく。

(カ) 神奈川県行政資料アーカイブの整備

デジタル化された県の行政資料を収集してコンテンツの充実を図るとともに、利用促進を図っていく。

(キ) 男女共同参画関連資料の整備

男女共同参画に関する資料について、LGBTQ 問題、女性労働や男女共同参画社会、人権等、あらゆる分野に目配りして収集する。

② 資料・情報の提供

ア 基本的なサービス

(ア) レファレンスサービス

社会・人文系及び神奈川に関する資料を中心とした課題解決型リサーチ・ライブラリーとして、県民、利用者、及び県内市町村図書館等に対し、レファレンスサービスを提供する。

専門性の高いレファレンスにも対応できるよう、分野ごとに担当の職員を配置する。職員は、広範な知識と多様な情報源に接するとともに、学術研究分野の最新の動向にも留意する。また、コミュニケーション能力の向上にも努める。

(イ) 閲覧、登録、貸出、複写、リクエストサービス

利用者の調査研究や課題解決を支援するため、蓄積してきた図書、新聞、雑誌、かながわ資料、視聴覚資料及びオンラインデータベースなどの提供を行う。

(ウ) 宅配貸出サービス、郵送複写サービス

直接図書館に来館しなくても、インターネットを通じて予約し、図書資料を自宅で受け取ることができる「宅配貸出サービス」を行う。

また、郵送による図書館カードの登録や複写サービスも行う。郵送複写に関しては、現金書留、郵便為替による支払の方法に加え、神奈川県電子申請システム（e-kanagawa）を利用することで、クレジットカード、ペイジーによる支払も可能とするなど利便性を高める。

(エ) オンラインデータベースサービス

所蔵資料に加え、新聞や法律情報等の各種オンラインデータベースや、国会図書館が提供するデジタル化資料送信サービス等を通じて、利用者が必要とする情報を提供する。

(オ) インターネットアクセス環境の提供

利用者が必要とする情報をインターネットからも得ることができるよう、閲覧室に公衆無線 LAN のアクセスポイント (Wi-Fi) を用意する。また、自分で端末を持っていない利用者でもインターネット上の情報や当館で契約する電子書籍にアクセスできるようタブレット端末の貸出を行う。

(カ) 障がい者サービス

図書館の利用に障がいのある人が一般の人と同じように情報を入手できるようにするため、無料郵送貸出や対面朗読などによる資料・情報提供サービスを実施

する。

(キ) 子どもに関わるサービス

子どもの読書活動の推進を図るため、引き続き「子ども読書活動推進フォーラム」や「生涯学習指導者研修－読書活動実践コース－」を開催する。また、県立高等学校図書館との連携も継続して推進し、子どもの読書に関わる人々へのサポート事業を実施する。併せて、神奈川県立音楽堂の催しや「青少年センター子どもフェスティバル」への参加など、新型コロナウイルス感染症の状況を注視しながら、催事による直接サービスにも取り組む。

イ 特色あるサービス

(ア) かながわ資料の提供

デジタルアーカイブによるコンテンツの公開や本館閲覧室内に設置する企画棚等を通じて、かながわ資料を県民・利用者に対して PR するとともに、神奈川関係情報の探索ツールの一つとして神奈川県関係文献情報ファイルの作成・整備を継続して行い、利用促進に努める。

(イ) 企画棚の設置

所蔵資料の紹介や利用者の知的好奇心を刺激することを目指して、本館の窓面書架等に特定のテーマに即した資料を配架する。

(ウ) 様々なニーズに合わせた閲覧環境の提供

ひとりで集中して研究したい場合に利用できる研究個室、仲間と議論しながら考察を深める学び⇄交流エリアなど、様々なニーズに合わせた閲覧環境を提供する。

(エ) 「パーソナルサポート」の提供

従来のレファレンスサービスやオリエンテーションの機能を充実させて、利用者が求める資料や情報に的確にたどり着けるよう、1人から3人程度を対象に、図書館の活用法を案内する「パーソナルサポート」を実施する。

(オ) 電子書籍サービスの提供

県民の学びを支援するため、館外貸出できない参考図書（辞書・事典類）を中心に、電子書籍サービスを提供する。

(カ) 行政情報支援

県職員の政策立案、情報収集、資料作成等を支援するため、所蔵資料の機関貸出、複写等の資料提供やレファレンスによる情報提供を行う。また、県職員に図書館の機能、役割を理解してもらい、図書館認知度の向上及び利用の促進を図るため、グループウェア上に設置したポータルの内容を充実していく。

③ 連携・協力事業

ア 図書館ネットワークシステム

(ア) 図書館情報ネットワークシステムの推進

平成2年度に稼働を開始した「神奈川県図書館情報ネットワーク（以下、KL-NET という）」を利用し、県内公共図書館等のネットワークの核施設として県内各市町村立図書館等の横断検索による相互貸借管理システム等を運用している。

令和3年4月、全面的な再構築となる新システムの稼働を開始し、再構築後のKL-NETの安定的な運用に努めるとともに、ネットワークに未参加の専門図書館や大学図書館について参加を働きかけ、県内の各種図書館間の連携・協力を充実させるように取り組む。

(イ) 県内公共図書館等横断検索サービス等の提供

複数の県内市町村立図書館等のOPAC（コンピュータで検索する図書館の蔵書目録）を同時に検索できるサービスを提供し、資料の所在を迅速、的確に伝えるなど、県民の情報要求に効率的に対応していく。また、このサービスと連動している相互貸借管理システムをKL-NET参加施設に提供することで、県内公共図書館等の相互貸借を迅速、円滑に進め、システム全体の安定的な運用が維持できるよう取り組む。

(ウ) 「神奈川県内公共図書館購入継続雑誌・新聞総合目録」の整備

県内の公共図書館が所蔵する雑誌と新聞について、情報検索や利便性を高めるための総合目録を整備し、県立図書館が事務局として管理を担い、県立図書館のウェブサイト上で引き続き一般公開する。県内の全公共図書館が参加館となり、随時、自館で所蔵する雑誌と新聞の所蔵情報を登録、所蔵データの訂正を行うことにより、各館の最新の情報が把握できる。継続して連携・整備を進め、県内所蔵情報の網羅性を高める。

イ 連携・協力

(ア) 図書館資料搬送システムの運営・改善検討

県民の読書・情報環境等、生涯学習の総合的整備推進を図るため、県内市町村立図書館等をはじめ、大学図書館、専門図書館等との図書館資料相互貸借を推進していく。協力車と宅配便の併用により県内31市町村との最低週1便の物流を確保する。また、協力車での搬送については、現状を把握し、物流量や効率の面から適宜巡回コースの見直し等を検討する。

令和4年度の実績とアンケート結果を踏まえ、今年度は市町村立図書館等からの業務相談・情報収集の方法は、協力車巡回時に司書が同乗する形式は月1回（ただし5月、8月、12月を除く）、オンライン（Zoom）による巡回コース単位

の情報交換は年1回（5月）、館の規模別でのオンライン（Zoom）情報交換を年1回（12月）とすることとする。また、特定のテーマを設定して、コースを超えた情報交換をオンライン（Zoom）で行う。

（イ）都道府県立図書館等との相互利用の推進

全国公共図書館協議会の「公共図書館間資料相互貸借指針」に基づき、他都道府県立図書館をはじめ、県外の各公共図書館との相互貸借を利用することにより、利用者の読書及び情報環境の充実、向上を図る。

（ウ）雑誌等の県内公共図書館分担保存・活用の推進

県内の公共図書館等が保有する雑誌のうち主要なものをそれぞれの館が分担して保存することで、重複して所蔵する資料の減少を促し書庫スペースの狭隘化の軽減を図る。併せて、新たな雑誌の受入を促進し、県全体として多様な雑誌の保有を目指し、豊富な情報提供サービスの基盤づくりを進める。県全体の共有財産として雑誌資料を有効活用できるよう、各館の連携と広域サービスの強化に努める。

（エ）大学図書館との連携、協力の推進

大学図書館が所蔵する専門図書を県民の利用に供するとともに、大学図書館の利用者である学生、院生、教職員が当館蔵書を含む県内公共図書館蔵書を学内から利用できるようにすることにより、県内図書館資料資源の有効活用を図る。

（オ）県内高校等との連携協力の推進

県立の図書館が所蔵する資料や情報、レファレンス、研修等のサービス提供のほか、「神奈川県内高等学校等図書館相互貸借管理システム」の運用により、学校図書館の整備・充実を支援し、「自ら学び自ら考える」力を育む県内高等学校等の生徒の学習活動や、教員の教育・研究活動に寄与する。当事業により、学校図書館で提供できる資料・情報が増加し、より多彩な教育活動の展開を可能とする。また、電子書籍を授業で活用してもらう仕組みを整える。

（カ）神奈川県公共図書館館長会議等の開催

県立の図書館の協力事業について実施計画や実施状況の説明、県内各市町村立図書館等の現状や今後の事業計画等の情報交換の場として、神奈川県公共図書館館長会議と協力事業実務担当者会議を開催する。図書館をめぐる情勢が変化していくなかで、県内の市町村立図書館等の館長が話し合うことで情報共有し、相互の理解を深め、連携・協力関係を強固にする重要な機会とする。

（キ）情報誌「こあ」の編集・発信

昭和59年に創刊し、現在は電子化されて、県立の図書館の公共図書館職員向けのホームページにおいて、CMS（コンテンツ・マネージメント・システム）にて公開している。県内公共図書館に勤務する職員の知識やモチベーションの向上を目的とした図書館員のための情報誌として編集、発信し、引き続き、コンテンツ

のさらなる充実を図る。

(ク) 子ども読書活動推進フォーラムの開催

神奈川県では「子ども読書活動推進計画」の策定に合わせ、「子ども読書活動推進フォーラム」を平成16年度から開催している。県立図書館は、平成24年度より事業主体を担い、令和5年度は12回目の開催となる。後援・共催事業として、神奈川県子ども読書活動推進会議・神奈川近代文学館・神奈川県図書館協会と連携・協力しながら、講演会や活動団体の実演の実施など、さらにフォーラムの充実を図り、子ども読書活動の推進に役立てる。なお、今年度は文字活字・文化の日記念講演会との併催により実施する。

ウ 図書館人材の育成

(ア) 市町村図書館等職員（基礎・専門）研修の実施

県内市町村立図書館等に勤務する職員の知識や専門技術の向上のために、図書館業務に関する研修を行う。実務経験3年以内の職員に対する「基礎研修」、図書館業務について相当程度の経験を有する職員に対する「専門研修」を実施する。市町村から依頼された職員について一定期間実務研修を行う「受入研修」については、要望があれば対応を検討する。

研修の実施にあたっては、参加職員の雇用形態、経験等が多様化（指定管理、委託等、司書資格の有無等）しているため、研修レベル等の設定や市町村立図書館のニーズに留意し、図書館運営や業務に、より役立つ研修とする。また、資料配付形式やオンライン会議ツールを活用した開催等、参加職員や講師の状況に合わせた形式で実施する。

(イ) 人材育成方策の企画

市町村立図書館職員だけでなく、高等学校の学校司書、専門図書館の職員も含めた図書館専門職員の人材育成計画を企画し実施する。

県の新採用職員育成のための研修についても、関係機関と連携し、計画的な研修の実施を図る。

エ 関係団体等業務

(ア) 関係団体等の事務局運営支援、連絡調整

神奈川県図書館協会の事務局を引き続き担う。これに加えて、県立図書館が加盟している関東地区公共図書館協議会、全国公共図書館協議会、日本図書館協会等の各団体と連絡を密にして、各団体の事業が円滑に実施されるように事務処理を行う。これらの団体は、図書館の発展や利用者サービス向上のため、調査研究、広報、諸会議の開催、図書館員向け研修等、多彩な活動に取り組んでいる。

④ 広報・普及活動

ア 広報活動

(ア) 事業連絡会議の運営

県立図書館の事業を広く県民に広報するために、各種イベントの年間計画案を作成する。また、関係各課と連携を持ち、円滑なイベントの運営を図り、図書館の利用を促進する。

(イ) 所蔵資料展示の実施

当館所蔵の多彩な資料を時宜に合ったテーマで展示、紹介することにより、新たな利用者を惹きつけるとともに、利用者が図書館と所蔵資料についての理解と関心を深め、より多くの資料の魅力を実感できる機会を提供する。

(ウ) 図書館実習等の受入れ、見学者への対応

例年、図書館を身近に感じ、理解を深める手段として、利用者を対象とした図書館の見学会の開催や、中高校生の職業体験等の受け入れを行っている。また、図書館学履修学生の実習や、図書館司書の研修、社会教育関係者の視察等も行っているが、いずれも令和4年4月以降、県立図書館再整備期間中は、原則として受け入れを中断する。

ただし、令和4年9月に開館した新しい本館については、見学・視察希望にはできるだけ対応する。

(エ) ホームページ等による広報・情報発信

県立図書館のホームページで図書館の基本理念、運営方針、利用方法、特徴ある資料のデジタル画像・コレクションの紹介、講座・展示等の案内、蔵書・利用状況などの統計、活動評価など図書館の全体像を紹介する。職員がイベントや資料についての紹介などを執筆する「司書の出番」、県立の図書館の公式X（旧Twitter）、Instagram等で、イベント情報の他、図書館の様々な情報をきめ細やかに発信していく。

平成9年度から運用してきた神奈川県生涯学習情報システム「PLANET かながわ」は令和5年8月をもって終了する。県民の主体的な学習活動を支援するという県の役割を果たすため、現行システムで行ってきたことを整理した上で、9月（予定）から新たな生涯学習情報サイトを運用するとともに周知する。

また、様々な広報媒体の活用や広報の機会を捉えて、当館の事業のチラシや広報資料の配布等を行うことで、図書館の利用促進を図っていく。

イ 刊行物の発行

(ア) 「郷土神奈川」の刊行

県民の郷土神奈川への関心を高める一助とするため、神奈川に関する広範な調

査研究論文等を掲載する「郷土神奈川」第 61 号を刊行する。また、許諾を得られた論文については当館ホームページに掲載する。

(イ) その他定期刊行物等の発行

次のような定期刊行物を引き続いて発行する。

- ・「かながわ資料ニュースレター」：かながわ資料の広報を行う。不定期で各 400 部を刊行し、当館ホームページにも掲載する。
- ・「トピックスのとびら」：社会状況等を踏まえたテーマ設定を行い、メディア横断的に関連所蔵資料を紹介する。不定期で刊行し、当館ホームページにも掲載する。
- ・「図書館ナビ」：資料探しの際に役立つ資料や情報を紹介する。
- ・「利用案内」：当館の概要、利用方法等を簡潔に説明するものとして刊行する。

ウ 講座等開催事業の実施

(ア) 講座等の開催

新しい県立図書館のコンセプトである「価値を創造する図書館」を実現するため、「Lib 活」（リブカツ、“Library”＋“部活動”の造語）事業を行う。

「Lib 活」では、「after5 ゼミ」、「県民が編むかながわの半世紀」、「本を選び、本を読み、本を朗読する講座（略称「朗読講座」）」の 3 本の講座を展開する。ただし、朗読講座については本年度は募集を行わず、昨年度の参加者の一部によりボランティア朗読会を開催する。

このほか、「大人が始める学び方講座」、「子ども読書活動推進フォーラム」なども引き続き開催していく。

⑤ 図書館運営の条件整備

ア 運営状況の点検・評価

(ア) 図書館アドバイザーレクチャー制度の運営

両県立図書館が有識者から、図書館の運営方針や運営方法などに関し、情報や助言等を得ることを目的にして実施している。令和 5 年度は、アドバイザー 2 名のうち、1 名を新たに選定し、アドバイザーによる講義等を職員を対象に実施する。

(イ) 活動評価の実施、公表

図書館活動について計画→実施→点検（評価）→見直しのサイクルを実現し、運営の改善を図ることを目的として活動評価を行い、その結果を公表する。

令和 5 年度は引き続き県立の社会教育施設共通の評価項目と図書館独自の評価項目の 2 体系で活動評価を行う。

(ウ) 利用調査の実施

図書館の利用実態を把握するために、県立川崎図書館と共同して来館された方を対象にアンケート調査を実施する。この調査は、毎年実施し、その結果を集積・分析して、今後の図書館サービスの向上に活かす。

(エ) 職員の研修

職場研修やミニレクチャーなど職員の知識や専門技術向上のための研修を、資料配布などで行う。また、県図書館協会をはじめ各種研修に参加し、その成果を共有して全職員のレベルアップにつなげ、利用促進や利用者の満足度向上を図る。

(オ) 職員による研究と発信

図書館の専門職として研修の講師を務めるなどのスキルアップを心がけ、また、その活動を所属でも支援する。さらに、職員の研究活動は当館の刊行物や図書館関連雑誌、学会誌への論文の投稿や研究成果の発表・発信を行って結実させ、県立の図書館職員全体の能力向上を図る。

イ 施設の整備

(ア) 施設の管理、維持修繕、備品整備

利用者、職員に安全で快適な環境を提供するため適切な維持管理を行うとともに、必要な修繕及び施設、備品の整備を行う。

令和5年度は主に次の事項について実施する。

- ① 収蔵館改修期間中に前川國男館へ移設する執務室等の整備
- ② 図書館業務を円滑に遂行するための定期点検、小破修繕等の継続実施
- ③ 緊急度の高い修繕工事の予算要求

(イ) 環境マネジメントシステムの推進

神奈川県環境マネジメントシステム環境方針のもとで、法令を遵守し、環境への負荷を可能な限り低減する。また、職員全員で図書館業務を環境配慮の視点で定期的に見直し、継続的に改善していく。

⑥ 生涯学習事業の展開

(ア) 生涯学習情報ウェブサイトのリニューアル等による、県民の生涯学習の普及啓発や継続支援、学習相談

「PLANET かながわ」の後継事業として、新たに生涯学習情報ウェブサイト「学び style かながわ」を立ち上げ、県民の生涯学習への取り組みを支援する機能を強化し、生涯学習の更なる推進に資する。

また、県民の生涯学習に関する相談への対応においては、県立図書館本館4階

の生涯学習相談デスクに専門の相談員が常駐し、必要な生涯学習情報等を提供するとともに、一人ひとりの自己実現を図る学習が進められるよう支援する。

(イ) 大人がはじめる学び方講座の開催

学びの場を卒業した大人が「何を学ぶか」「どのように学ぶか」「どのように学んだことを活かすか」を改めて考える機会を提供し、県民の学習ニーズに応えることで、生涯学習を推進する。令和5年度は引き続き、学びの姿勢に関する内容について考えを深めるための講座を実施する。

(ウ) かながわ大学生涯学習推進協議会を中心としたネットワークの推進

県民が生涯を通じて、主体的に多様な学習活動を行えるよう「かながわ大学生涯学習推進協議会」の場を活用して、大学相互及び大学と県が連携・協力を図りながら大学における生涯学習の取組みを推進する。

(エ) 生涯学習指導者等研修

市町村等の生涯学習・社会教育関係の指導者及び助言者等を対象に、人材育成を図るとともに、生涯学習・社会教育をめぐる問題解決能力を高められるようにするため、研修を企画・実施する。

(オ) 体験活動・ボランティア活動の支援

豊かな人間性や社会性を培うことができるように体験活動、ボランティア活動に関する講座の開催や情報の収集・提供、相談を実施する。

また、Lib 活「本を選び、本を読み、本を朗読する講座」の令和4年度の受講生が県立図書館朗読ボランティアとして館内で朗読会を実施する。

⑦ 近隣公共文化施設との連携

紅葉ヶ丘地区にある公共文化施設5館（県立音楽堂、県立青少年センター、県立図書館、横浜市民ギャラリー、横浜能楽堂）の連携事業として、一定の期間に各館が実施するイベントをまとめ、各イベントへの参加や各施設への来館を促し、紅葉ヶ丘地区の5館の持つ文化芸術の魅力を知ってもらう事業を実施する。

⑧ 県立図書館の再整備の推進

令和4年9月に開館した本館を運営するとともに、「県立図書館の再整備に向けた基本的な考え方」に基づき、令和5年度より行う収蔵館、前川國男館の改修工事等の整備を、教育局生涯学習部等と連携して行い、県立図書館の新たな魅力を引き出すための機能や専門的図書館、広域図書館としての果たすべき役割等について引き続き検討を進めていく。

5 予算・決算

(1) 令和5年度予算

(単位：千円)

区 分	細 事 業 名	予 算 額	説 明
社会教育施設費	1 維持運営費	181,485	維持運営費、生涯学習情報ウェブサイト製作費等
	2 図書館事業費	241,228	図書資料購入費、収蔵館資料移転費、図書資料外部倉庫保管料、電子書籍整備費、フリーWiFi運用保守費等
	3 金沢文庫費	792	図書館情報ネットワーク機器賃借料
	4 施設整備費	12,238	収蔵館書架等解体・撤去費
	5 整備工事費	205,000	収蔵館改修工事費
	6 図書館情報ネットワーク推進事業費	49,692	図書館資料等運搬費、図書館情報ネットワークシステム運用保守費
	小 計	690,435	
事 務 局 費		161,264	会計年度任用職員報酬等、職員厚生管理費、旅費
教 育 指 導 費		30	人権教育推進事業費
教育財産管理費		1,513	教育施設維持修繕費
社会教育振興費		322	生涯学習指導者養成事業費
人 権 男 女 共 同 参 画 費		245	女性関連資料室用資料等購入費
かながわ男女共同 参画センター費		804	
合 計		854,613	

(2) 令和4年度決算

(単位：千円)

区 分	細 事 業 名	決 算 額	説 明
社会教育施設費	1 維持運営費	176,888	維持運営費、PLANETかながわ運営費
	2 図書館事業費	129,015	図書資料購入費、本館資料移転費、電子書籍整備費、フリーWiFi運用保守費、周辺家屋事後調査及び損失補償査定費(本課執行)等
	3 初度調弁費	490,885	本館初度調弁費
	4 川崎図書館事業費	1,753	図書資料等運搬費
	5 金沢文庫費	792	図書館情報ネットワーク機器賃借料
	6 実施設計費	74,800	収蔵館・前川國男館実施設計費(本課執行)
	7 整備工事費	551,190	本館工事費(本課執行)
	8 図書館情報ネットワーク推進事業費	46,489	図書資料等運搬費、図書館情報図書館情報ネットワークシステム運用保守費
	小 計	1,471,812	
事 務 局 費		157,229	会計年度任用職員報酬等、職員厚生管理費、旅費
教 育 指 導 費		30	人権教育推進事業費
教育財産管理費		1,513	教育施設維持修繕費
社会教育振興費		317	生涯学習指導者養成事業費等
人 権 男 女 共 同 参 画 費		250	女性関連資料室用資料等購入費
かながわ男女共同 参画センター費		803	
合 計		1,631,954	

6 令和4年度事業報告

(1) 資料収集・整備

ア 資料・情報の収集

(ア) 図書の収集

「神奈川県立図書館資料収集要綱」及び「資料選定基準」に基づき、社会科学及び人文系分野の図書を重点的に収集した。県立川崎図書館や県内市町村立図書館等との役割分担を踏まえ、調査研究に資するような専門図書、基本図書を中心に収集した。

令和4年度は8,216冊の資料を購入した他、各機関・個人より8,516冊の資料を寄贈等により受け入れ、合計16,732冊を受け入れた。

図書のうち、かながわ資料については、県全域にわたり地域の現状が分かる資料、歴史として保存するに相応しい資料を、あらゆる分野に目配りして収集した。かながわ資料は、通常の流通ルートに乗らないものも多いため、新聞記事等の刊行情報、国立国会図書館に納本された図書のデータなどをチェックして、購入及び寄贈等により収集した。(令和4年度は252冊の資料を購入し、1,848冊の資料を寄贈等により受け入れた。)

平成28年度に「『人生100歳時代』を支える県立図書館」として職員提案した事業が施策化され、平成30年度より2か年間予算がついた後も、同規模額を予算措置して県民の「学び直し」に必要な資料を収集している。令和4年度は、151冊の図書を受け入れた。

令和3年度より、読書バリアフリー法への対応の一環として、LLブックの収集を開始し、令和4年度は5冊の図書を購入で受け入れ、所蔵冊数は60冊となった。

(イ) 逐次刊行物(新聞、雑誌、年鑑・年報等)の収集

県民ニーズの高度化・多様化に応えるため、社会・人文系の各種逐次刊行物を収集した。特に法律・経済関連情報及び専門的・学術的情報に留意し、雑誌においては大学紀要類を中心とした資料構成を構築している。また、県内刊行の逐次刊行物を収集し、かながわ資料の充実を図った。

令和4年度末現在の購入受入れ数は、雑誌322誌、新聞23紙、年鑑・年報255冊であった。(年鑑・年報の冊数は図書の冊数に含まれる。)雑誌については随時寄贈依頼を実施しており、新たなタイトルとして受け入れた件数は、一般雑誌(大学紀要等)17誌、かながわ資料とすべき県内刊行物3誌、男女共同参画関連資料とすべき刊行物3誌であった。

(ウ) 映像・音響資料の収集

将来にわたって県民の知的財産となりうる、記録性・芸術性に優れた資料で、再生可能なものを収集、整備した。

また、神奈川についての理解を深めることができる資料についても収集に努め、かながわ資料充実の一助とした。

令和4年度に購入し受入れた数は、音響資料 CD574 点であった。寄贈により受入れた数は、映像資料 DVD51 点、音響資料 CD255 点であった。

(エ) その他の資料（電子書籍等）の収集

令和4年6月1日より川崎図書館と合同で図書館ホームページから利用できる電子書籍サービスを開始した。紀伊國屋書店が提供する KinoDen を利用し、調査研究に役立つタイトルを選定した。85 タイトルでサービスを開始、令和4年度末現在で96 タイトルを提供している。

イ 資料・情報の整備

(ア) 資料の整理・点検・修理・製本

収集した資料を利用しやすいように整理し、その後の維持管理を行った。資料点検について令和4年度は、新しく開館した本館に移動した図書の確認を兼ねて、約16万冊の点検を8月に実施した。

「資料保存方針」に則り、資料の修理等を日常業務として行った。日常の修理では対応が難しい図書12冊について、業者へ依頼して修理製本を行った。このほか、保存環境によりカビ被害が生じた図書135冊について、業者へ依頼してカビの除去・燻蒸を行った。

また、資料保存の観点から新聞等の製本を実施したほか、資料の劣化対策として、神奈川県関係の16ミリフィルム18本の媒体変換（デジタル化）を行った。

(イ) 書誌データの整備

新規に受け入れた資料の書誌データを作成し、当館ホームページに公開した。図書資料については、主にトーハン MARC（(株)トーハン提供）、JAPAN/MARC（国立国会図書館提供）などの MARC（コンピュータ用図書目録）データを基に作成した。MARC がない資料については、当館独自の書誌データを作成した。既成の MARC を使用した場合でも、個人件名、内容注記等を付加した。特に個人件名は、当館独自のレファレンスツールとして充実に努めており、令和4年度は600件作成した。

(ウ) 館内サイン計画及び資料配置計画の検討・実施

閲覧室内については、統一感があり見やすい案内表示（サイン）の設置や、所蔵資料の魅力を最大限に活かせる資料配置等について工夫した。

書庫については、収蔵館の改修を見据えた資料配置を行った。

(エ) 神奈川県関係文献情報ファイルの作成・整備

県立川崎図書館と共同して、神奈川県に関する文献（新聞記事、雑誌論文、図書の一部等）の索引データを作成し、ホームページから検索できるよう整備し

ている。

令和4年度は6,258件（雑誌・図書文献394件、新聞記事5,864件）の新規データを入力した。

(オ) 神奈川県立図書館デジタルアーカイブの整備

神奈川県立図書館デジタルアーカイブについては所蔵資料のうち、著作権保護期間を満了している著作物について、利用促進および保存のためデジタル化を進め、令和4年度は新たに31タイトルを公開した。

(カ) 神奈川県行政資料アーカイブの整備

デジタル化された県の行政資料を収集してホームページで公開する神奈川県行政資料アーカイブについては、コンテンツを充実させ、利用促進を図った。令和4年度は新たに174タイトルを登録した。

(キ) 男女共同参画関連資料の整備

令和4年度より、女性関連資料から名称を「男女共同参画関連資料」と改めた。男女の共同参画に関する資料についてLGBTQ、女性労働や男女共同参画社会、人権等、あらゆる分野に目配りして収集し、令和4年度は図書277冊、雑誌40タイトルを購入した。また、寄贈等により雑誌102タイトルを受け入れた。

旧かながわ女性センターから移管された資料については、1989年以前の刊行図書をコレクションとし、それ以降刊行の図書を再整理し一般図書へ組み入れる作業を進めた。

なお、令和4年度の本館への移転に際し、図書・雑誌ともに一般資料と混配し、図書については女性関連資料であることがわかるよう、請求記号ラベルに緑シールを貼付している。本館1階の窓面展示には「男女共同参画関連資料」についての紹介も設けた。

(ク) 未受入資料の整備

資料の整理を進め「韓国朝鮮文庫」474件のデータ入力作業を終えた。

(ケ) 「ライトノベル・コレクション」の検討

県立高校図書館と連携して、令和8年度をめどにライトノベル作品の保存・運用を始める予定である。今後のコレクションの収集方針や整理・配架の方法の検討においての参考とするため、県立湘南高校・県立茅ヶ崎高校・県立厚木清南高校の各学校司書とともに、角川武蔵野ミュージアム（「マンガ・ラノベ図書館」）の視察を行った。（3月16日）

(コ) 利用者向けリユースコーナーの設置

重複図書の除籍を重点的に行う中で、まだ十分に活用できる図書が多くあったため、県内図書館に譲渡できなかった分を「リユース本」として利用者へ提供する事業を、令和2年度より始め、新しい本館開館後も継続的に実施している。

(2) 資料・情報の提供

ア 基本的なサービス

(ア) レファレンスサービス

社会・人文系を中心とした課題解決型リサーチ・ライブラリーとして、図書、新聞・雑誌、かながわ資料、視聴覚資料及びオンラインデータベースを整備し、県民・利用者及び県内市町村立図書館等に対して、充実したレファレンスサービスが提供できるよう努めている。

分野ごとに担当職員を配置し、レファレンス事例の活用を通して、県民・利用者の課題解決力の向上に寄与する図書館を目指した。

インターネットの利用等により、簡易な質問や所蔵調査が年々減少する中、より高度になった利用者の情報要求に対して回答精度の向上及び職員の資質向上に努めた。また、昨年度と同様に国立国会図書館のレファレンス協同データベースシステムを活用したレファレンス事例の公開を行い、多くのアクセスを得た。

(イ) 閲覧、登録、貸出、複写、リクエストサービス

図書、新聞・雑誌、かながわ資料、視聴覚資料及びオンラインデータベースの提供の充実・強化を図り、県民の多様なニーズに応えている。なお、視聴ブースでの視聴覚資料の利用は本館開館以降、前川國男館の開館まで休止している。

さらに、横浜駅西口の県立図書館横浜西口カウンターにおいて、図書館カードの発行（登録）及びインターネット予約図書の貸出、返却等を行うことで、利便性の高いサービスを提供してきた。

令和4年度の図書館カードの新規登録者は7,097件、うち、郵送登録は149件、個人貸出点数は76,527点、予約・リクエスト受付件数24,618件、複写件数3,349件、同枚数83,950枚であった。また、視聴覚資料(映像・音響)の館内での利用は286点であった。

なお、県立図書館横浜西口カウンターでの令和4年度の貸出は7,830冊、返却は12,052冊であった。

(ウ) 宅配貸出サービス、郵送複写サービス

県立の図書館の図書館カードを持つ県内在住者が、インターネットで予約して、自宅で図書を受け取ることができる宅配貸出サービスを行っている。令和4年度の貸出は、449冊であった。

また、自宅に居ながら複写物を受け取れる郵送による複写サービスも行っている。

(エ) オンラインデータベースサービス

利用者が使用できるオンラインデータベースについて本館開館を機に拡大し、下記の11種類を提供した。

データベース名（ベンダー名）	利用場所
「官報情報検索サービス」国立印刷局	1階
「D1-Law.com」第一法規	1階
「デジタル化資料送信サービス」国立国会図書館	1階、2階
「歴史的音源」国立国会図書館	1階
「ヨミダス歴史館」読売新聞社	2階
「日経テレコン(日経限定メニュー版)」日本経済新聞社	2階
「神奈川新聞社 WEB マイクロフィルムサービス」神奈川新聞社	2階
「朝日新聞クロスサーチ」朝日新聞社	2階
「毎日新聞社のデータベース 毎索」毎日新聞社	2階
「産経新聞データベース」産経新聞社	2階
「MagazinePlus」日外アソシエーツ	2階

(オ) インターネットアクセス環境の提供

利用者が必要とする情報をインターネットからも得ることができるよう、閲覧室に公衆無線 LAN のアクセスポイント(Wi-Fi)を用意した。

令和3年度まではインターネット情報検索サービスとして、課題解決のために利用者が必要としている情報を、図書館の蔵書のみならず、館内でインターネットを通じて収集できるように、端末機を設置し、利用に供していた。

最近では、自分の端末を持参して情報収集をする利用者が増えたことや、閲覧スペースの有効活用の観点から、令和4年4月～8月の臨時閲覧室期間より、インターネット情報検索サービスを廃止し、令和4年9月の本館開館と同時に、インターネット上の情報を検索したい方向けにタブレット端末を貸し出し、館内で利用していただくサービスを始めた。令和4年度は243件の利用があった。

(カ) 障がい者サービス

昭和56年の国際障害者年を契機に、図書館利用に障がいのある人のため、県内公共図書館及び関係機関と連携し、障がい者サービスを始めた。神奈川県視覚障害者情報提供施設連絡協議会に加盟し、研究集会を企画・実施するほか、県内公共図書館等障害者サービス実務担当者会議を開催している。また、神奈川県内公共図書館障害者サービス実施状況調査を行っている。なお、令和4年度は前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から会議の開催は中止となった。

県立図書館の障がい者サービスの内容は、大活字本の収集・提供、図書・録音資料の郵送貸出、レファレンスサービス、対面朗読などとなっている。関係機関に対しては、録音図書作成のための原本の提供や読み方調べなどの対応を通して、間接的なサービスを提供している。

また、各カウンターでは、筆談ボードや話し言葉でのコミュニケーションが困

難な方のために、コミュニケーションボード、拡大鏡などを用意している。

(キ) 子どもに関わるサービス

子どもの読書活動の推進を図るため、「子ども読書活動推進フォーラム」や「生涯学習指導者研修－読書活動実践コース－」などを実施した。

また、県立高等学校図書館との連携も継続して推進し、子どもの読書に関わる人々へのサポート事業を実施した。さらに、子どもを対象とした神奈川県立音楽堂の催しに蔵書の絵本を出展した。「青少年センター子どもフェスティバル」への参加も行った。

イ 特色あるサービス

(ア) かながわ資料の提供

デジタルアーカイブによるコンテンツの公開や神奈川県関係文献情報ファイルの作成・整備など、資料へのアクセスを支援するツール等の整備を継続して行い、かながわ資料の提供に努めた。

(イ) 企画棚の設置

所蔵資料の紹介や利用者の知的好奇心を刺激することを目指して、本館の各所に企画棚を設置した。

企画棚名	内容	場所
共生棚	「共に生きる」という大きなテーマのもとに、様々な小テーマで図書を紹介。当館にゆかりの深い山川菊栄氏に関する資料等も紹介。	本館 1 階
かながわ資料展示	テーマに沿って、神奈川県に関する資料(かながわ資料)を紹介。	本館 2 階
前川國男展示	神奈川県立図書館・音楽堂を設計するなど、日本のモダニズム建築を代表する作品を数多く生み出した前川國男に関する資料を紹介。	本館 2 階
遅効の本棚	長い時間軸の中でゆっくりと物事について考え続けるための本をテーマに沿って紹介。	本館 3 階
図書館刊行物展示	当館で発行した資料解説目録をもとに資料を紹介。	本館 3 階
シコウの窓	一片の言の葉から自由に連想した本を紹介。	本館 3 階
司書箱	司書それぞれが、自分で選んだテーマに沿った図書を紹介。	本館 1 階 ～ 3 階 通常書架内

(ウ) 様々なニーズに合わせた閲覧環境の提供

図書館資料を活用する様々なシーンを想定し、会話のみならず電子機器や筆記用具の利用もできず静謐な環境で読書に集中できる静寂読書室や、仕切られた机で読書や研究に集中できる研究ブース、一人でじっくりと研究に向きあえる研究個室、グループで議論をしながら研究できるディスカッションルームなどを用意した。静寂読書室は5,986人、研究ブースは38,885人、研究個室は4,028人、ディスカッションルームは525人の利用があった。

(エ) 「パーソナルサポート」の提供

従来のレファレンスサービスやオリエンテーションの機能を充実させて、利用者が求める資料や情報に的確にたどり着けるよう、1人から3人程度を対象に、図書館の活用法を案内する「パーソナルサポート」を実施した。令和4年度は4件、14人の利用があった。

(オ) 電子書籍サービスの提供

県民の学びを支援するため、館外貸出できない参考図書（辞書・事典類）を中心に、令和4年6月より電子書籍サービスを開始した。令和4年度は4,880件の利用があった。

(カ) 行政情報支援

県立図書館からの資料提供やレファレンスを通して、神奈川県職員の職務の遂行を情報面から支援するほか、他の県機関と協働して「神奈川県行政資料アーカイブ」の運営を行い、行政情報の発信基地としての役割を果たしている。

県職員が職務上必要としている資料を提供するため、文献複写、資料の貸出やレファレンスサービスを実施した。特に、資料の貸出については48機関に対して116冊を提供した。また、県グループウェア内の県立図書館・県立川崎図書館のページにサービス内容を紹介し、利用方法を案内している。

(3) 連携・協力事業

ア 図書館ネットワークシステム

(ア) 図書館情報ネットワークシステムの推進

平成2年度に稼働を開始した「神奈川県図書館情報ネットワーク（以下、KL-NET という）」を利用して、相互貸借管理システムを運営し、県内公共図書館ネットワークの核施設としての事業を推進した。令和4年度においてもシステムの安定的な運用に努め、システム更新等により横断検索ができなくなった参加施設については早期復旧するよう対応した。

また、KL-NET は令和3年4月より、全面的な再構築となる新システムの稼働を開始し、再構築後のKL-NETの安定的な運用に努めた。

研修については、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、主にオンラ

インと動画視聴形式で実施した。

(イ) 県内公共図書館等横断検索サービス等の提供

複数の県内市町村立図書館等の OPAC（コンピュータで検索する図書館の蔵書目録）を同時に検索できる横断検索サービスを提供し、資料の所在を迅速、的確に伝えるなど、県民の情報要求に効率的に応えている。このサービスと連動している相互貸借管理システムを KL-NET 参加施設に提供することで、県内公共図書館等の相互貸借を迅速、円滑に進め、システム全体の安定的な運用が維持できるよう取り組んだ。

(ウ) 「神奈川県内公共図書館購入継続雑誌・新聞総合目録」の整備

「神奈川県内公共図書館購入継続雑誌・新聞総合目録」は、平成 15 年度より開始した事業で、県立図書館が事務局として維持・管理を担い、ウェブサイト上に一般公開している。総合目録の提供により、県民の情報検索や利用の利便性を高めるとともに、県内公共図書館のネットワーク化の推進を図っている。

県内の全公共図書館が参加館となり、随時、自館で所蔵する雑誌と新聞の所蔵情報を登録し、所蔵データを更新・整備している。雑誌については、原則として購入雑誌でかつ現在受入中のものを収録対象としており、各館の最新の情報が把握できるようになっている。

イ 連携・協力

(ア) 図書館資料搬送システムの運営・改善検討

県民の読書・情報環境等、生涯学習の総合的整備推進を図るため、県内市町村立図書館をはじめ、大学図書館、専門図書館等との図書館資料相互貸借を推進した。協力車と宅配便の併用により県内 31 市町村との最低週 1 便の物流を確保した。

令和 4 年 5 月より、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策のため休止していた巡回車への司書の同乗を再開した（月 1 回）。一方、数か月に 1 回は巡回コース別やテーマ別でオンライン会議ツール（Zoom）による情報交換を行うほか、メールマガジン「協力車 Mail」を月 2 回発信することなど、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策で、司書同乗に代わる情報交換手段として始めた事業は、好評だったため継続することとした。

(イ) 都道府県立図書館等との相互利用の推進

全国公共図書館協議会の「公共図書館間資料相互貸借指針」に基づき、他都道府県立図書館をはじめ、県外の各公共図書館との相互貸借を促進することにより、県民の読書・情報環境の充実向上を図っている。

資料の提供に当たっては、迅速な対応はもちろんのこと、当館のコレクションの一つである全国市町村史資料のように、他館での所蔵が少ないものを貸出するなど、都道府県立図書館等の利用者へのサービス向上に貢献している。

なお、令和4年度は、貸出が306冊、借受が148冊であった。

(ウ) 雑誌等の県内公共図書館分担保存・活用の推進

広域サービスの推進と書庫スペース狭隘化の軽減を図ることを目的として、平成16年度より開始した事業で、県内の公共図書館が相互に協力して雑誌の永年保存館を指定し、効率的な保存・活用を進めている。

令和4年度は神奈川県内公共図書館逐次刊行物実務担当者会議を書面送付により開催し、県内公共図書館が保有する雑誌のうち118誌については指定を受けた図書館が永年保存すること、市町村立図書館が短期保有している雑誌のうち16誌については県立図書館で受け入れ保存すること等の確認を行った。

(エ) 大学図書館との連携、協力の推進

大学図書館が所蔵する専門図書を県民の利用に供するとともに、大学図書館の利用者である学生、院生、教職員が当館蔵書や県内市町村立図書館蔵書を学内から利用できるようにすることにより、県内図書館資料資源の有効活用を図った。

(オ) 高校との連携協力事業

「県立の図書館と県立高等学校等による連携・協力事業」は、県立の図書館が所蔵する資料や情報、レファレンス、研修等のサービス提供のほか、「県内高等学校等相互貸借管理システム」の運用により、学校図書館の整備・充実を支援し、「自ら学び自ら考える」力を育む県立高等学校生徒の学習活動や、教員の教育・研究活動に寄与する事業である。当事業により、学校図書館で提供できる資料・情報が増加し、より多彩な教育活動の展開をサポートできるようになった。

県立高校図書館の所蔵データを集積した「総合目録」は「県内高等学校等相互貸借管理システム」の中核となるものである。令和4年4月時点の「総合目録」へのデータ登録校は142校143館となった。

令和4年9月より、総合教育センターが高校連携事業に参加した。これにより、高校図書館からの総合教育センター蔵書の利便性が高まった。

(カ) 神奈川県公共図書館館長会議等の開催

県立の図書館の協力事業について実施計画や実施状況の説明、各市町村立図書館等の現状や今後の事業内容の情報交換の場として、毎年年度初めに開催している神奈川県公共図書館館長会議と協力事業実務担当者会議については、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止とし、書面による情報提供を行った。

(キ) 情報誌「こあ」の編集・発信

県内公共図書館に勤務する職員の知識やモチベーションの向上を目的とした図書館員のための情報誌であり、昭和59年に創刊した。現在は電子化し、県立の図書館が運営する県内公共図書館職員向けのホームページにおいて、CMS（コンテンツ・マネージメント・システム）にて公開している。令和4年度も継続してコンテンツの充実に努め、県内公共図書館の動向や、日常の業務の参考として各館

のイベント・展示情報、県立図書館で受けたレファレンス事例等、87 件の記事を掲載した。

(ク) 地域資料交換会の開催

当館及び県内の市町村立図書館や県の関係機関に寄贈された資料のうち、当該機関で受け入れない地域資料を対象とした交換会を毎年開催してきた。この事業により、供出した機関は保管していたスペースを有効に活用することができ、資料を取得した機関は、蔵書を補完・充実することができる。

令和 4 年度は新型コロナウイルス感染防止に配慮して、例年 1 日で行っているものを 2 日間（1 月 25, 26 日）に設定し、会場への入室は 30 名を上限として実施した。公共図書館、大学図書館、専門図書館等あわせて 15 館が合計 1,540 冊の資料を提供し、15 館が合計 201 冊の資料を取得した。

なお、収蔵館の再整備期間にあたる令和 7 年度過ぎまで地域資料交換会は休止とする予定である。

(ケ) 子ども読書活動推進フォーラムの開催

子どもたちの豊かな育ちのために、「すぐれた本との出会い」を子どもの成長に応じて適切に準備することや、子どもたちが読書に親しむことができるような環境づくりのため、神奈川県では「子ども読書活動推進計画」の策定に合わせ、「子ども読書活動推進フォーラム」を平成 16 年度から毎年開催している。

平成 24 年度からは開催主体を県立図書館とし、神奈川県図書館協会や神奈川近代文学館等との共同開催とした。

令和 4 年度は、作家の古内一絵さんによる講演「ヤングアダルト世代の皆さんのご質問にお答えして プラス十代のうちに経験しておいてよかったいくつかの事柄」及び横浜市立山内中学校図書委員会による事例発表があった。本館を会場としてオンラインと併催、会場 15 名、オンライン 48 名の参加があった。

ウ 図書館人材の育成

(ア) 市町村図書館等職員（基礎・専門）研修の実施

県内市町村立図書館等に勤務する職員の知識や専門技術の向上のために、図書館業務に関する研修を実施した。実務経験 3 年以内の職員に対する「基礎研修」1 回、参加 52 人、図書館業務について相当程度の経験を有する職員に対する「専門研修」5 回、参加延べ 83 人、の 2 種類を、資料掲載やオンライン会議ツール（Zoom）、実地により開催した。

実施にあたっては、参加職員の雇用形態、経験等（指定管理、委託等、司書資格の有無等）にも配慮しながら、研修のレベルや市町村立図書館のニーズ等に則した内容の設定に努め、図書館運営や業務に、より役に立つ研修を企画、実施した。

(イ) 人材育成方策の企画

市町村立図書館等の職員だけではなく、県内高校等との連携協力事業の一環で県立高等学校図書館の学校司書を対象とする新任者研修とレファレンス研修を計4回実施し、延べ188人の参加があった。

また、県の新採用司書職員育成のための研修プログラムを作成し、実施した。

なお、令和4年度も昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、資料配付またはオンライン開催で実施した。

エ 関係団体等業務

(ア) 関係団体等の事務局運営支援、連絡調整

神奈川県図書館協会の事務局を引き続き担い、協会各委員会と連絡調整しながら事業を実施した。これに加えて、県立図書館が加盟している関東地区公共図書館協議会、全国公共図書館協議会、日本図書館協会等の各団体と連絡を密にして、各団体の事業が円滑に実施されるように事務処理を行った。

(4) 広報・普及活動

ア 広報活動

(ア) 事業連絡会議の運営

事業連絡会議では、県立図書館の事業を広く県民に広報するための各種イベントの年間計画案を作成し、また、円滑にイベントが実施できるように、関係各課、職員間で開催事務の情報共有を図った。

(イ) 所蔵資料展示の実施

令和4年度前半は、本館開館に伴う資料移転作業のため臨時閲覧室のみの開館だったので展示は実施せず、9月の開館に合わせて、本館ギャラリーや窓面書架、通常書架などを使った展示を開始した。

(ウ) 図書館実習等の受入れ、見学者への対応

図書館を身近に感じ、理解を深める手段として、例年、利用者や図書館関係者の図書館見学会の開催や中高校生の職業体験等、図書館学履修学生の実習、県庁インターンシップの受け入れ等を行っているが、令和4年4月以降、県立図書館再整備期間中は、原則として受け入れを中断することとなった。ただし、令和4年9月に新しい本館が開館してからは、本館に限り希望にはできるだけ対応したので、令和4年度は半年で、34件延べ287人の見学・視察があった。

(エ) ホームページ等による広報・情報発信

図書館の基本理念、運営方針、利用方法、郷土資料のデジタル画像や県内の行政資料のアーカイブズ、コレクションの紹介、県民公開講座・展示等の案内や記録、蔵書数・利用状況などの統計、活動評価など図書館の全体像を紹介した。

職員が執筆する「司書の出番」では、令和4年度は38件（うち県立図書館29件）の新規記事でイベント報告や本館の紹介などを発信した（令和3年度は53件）。また、「県立の図書館 公式ツイッター」を活用し、令和4年度は273件（うち県立図書館194件）の新規記事でイベント募集や展示情報等のトピックスをきめ細やかに発信した。

本館の開館を紹介するために、Instagramによる広報を開始した。

また、館内やかながわ県民センター1階及び9階に設置したチラシラック等を活用した広報等を充実させるとともに、県イベントや企業等連携を活用した広報を行うなど、図書館の利用を促進する取組みを展開した。

（オ）読書ノートの提供

本館の開館を機に、利用者が自由に印刷・活用できる「読書ノート」の提供を、ホームページ上で開始した。

令和4年度 資料展示内容

※令和5年6月1日時点

展示の種類	場所	内容（タイトル）	実施期間		計
			開始日	終了日	
企画展示	ギャラリー	かながわ 鉄道の記憶	9月1日	2月8日	2
		性と社会の今。人として自分らしく生き抜く	2月10日	6月4日	
常設展示	1F窓面書架	「共に生きる」	常時		1
	1F窓面書架	山川菊栄文庫	常時		1
	2F窓面書架	前川國男関係	常時		1
	3F窓面書架	文学賞（芥川賞、直木賞、川端康成賞、江戸川乱歩賞）	常時		1
かながわ資料 テーマ棚	2F窓面書架	かながわと鉄道	9月1日	1月11日	2
		かながわと映画	1月13日	5月10日	
遅効の本棚	3Fザ・リーディング グラウンジ	本を読む本	9月1日	1月11日	2
		愛すべき知的好奇心	1月13日	4月12日	
図書館刊行物	3F窓面書架	大乘仏典（仏陀）、論語（孔子）	9月1日	10月12日	7
		孟子（孟子）、老子（老子）、莊子（莊子）	10月14日	11月9日	
		孫子（孫子）、韓非子（韓非子）、史記（司馬遷）	11月11日	12月7日	
		ソクラテスの弁明（ソクラテス）、饗宴 国家（プラトン）、ニコマコス倫理学 詩学（アリストテレス）	12月9日	1月11日	
		旧約聖書（モーセ）、告白（アウグスティヌス）	1月13日	2月8日	
		新約聖書（イエス）、コーラン（マホメット）	2月10日	3月8日	
		君主論（マキアヴェッリ）、キリスト者の自由（ルター）、エッセー（モンテーニュ）	3月10日	4月12日	
シコウの窓	3F窓面書架	START	9月1日	10月12日	7
		とぶ	10月14日	11月9日	
		うみ	11月11日	12月7日	
		イリュージョン	12月9日	1月11日	
		ないしょ	1月13日	2月8日	
		おとな	2月10日	3月8日	
		act	3月10日	4月12日	

司書箱	1F書架①(0門)	趣味は図書館巡りです。	9月1日	11月9日	5
		大好き 辞書・事典!	11月11日	12月28日	
		我々はどこから来たのか 我々は何者か 我々はどこへ行くのか	1月5日	1月31日	
		女性の雑誌	2月1日	3月2日	
		いっぱいあつめたよ	3月3日	5月2日	
	1F書架②(3門)	さまざまな角度から「憲法」にふれる	9月1日	11月22日	4
		世界でくらす	11月23日	2月4日	
		白か黒か	2月4日	3月30日	
		市民がうごく	3月30日	-	
	1F書架③(3門)	SDGsと経済活動	9月1日	12月2日	5
		Bank!Bank!Bank!	12月3日	12月28日	
		その先が大事だから。	1月4日	1月31日	
		福澤、お札やめるってよ	2月1日	3月2日	
		天下のまわりもの	3月3日	4月28日	
	1F書架④(3門)	性の多様性についての本	9月1日	11月9日	2
		これからの“男の生き方”をさぐる本	11月11日	3月31日	
	1F書架⑤(3門)	粹は必要?それともいらない?	9月1日	11月10日	5
		メジャーじゃなくなってもいいじゃない	11月11日	12月28日	
		守る、護る	1月5日	1月31日	
		鬼は～内(福も～内)	2月1日	3月9日	
境界をこえて		3月9日	4月28日		
1F書架⑥(6門)	吉屋信子「安宅家の人々」と畜産業	9月1日	11月12日	3	
	鉄道×文学	11月12日	1月31日		
	舞いあがれ!	2月1日	6月2日		
2F書架①(2門)	「日記」が伝えるリアル	9月1日	10月5日	4	
	本の中から弾けだすメロディー	10月5日	11月22日		
	いつだって健康でいたい!	11月23日	1月15日		
	お側に仕えて	1月15日	-		
2F書架②(2門)	もふもふがたまらニヤイ!	9月1日	11月2日	4	
	読書会は続く。	11月3日	1月8日		
	国境を越えたその先へ	1月8日	3月9日		
	やっぱり京都	3月10日	-		
2F書架③(2門)	横浜の海を望む	9月1日	10月13日	4	
	世界は疑問にあふれている	10月14日	12月7日		
	一步、二歩、散歩。	12月9日	2月8日		
	歴史は歌い、そして踊る	2月10日	5月10日		
2F書架④(2門)	コーヒーとともに	9月1日	9月9日	8	
	エリザベス女王崩御	9月9日	10月5日		
	いろいろきいろ	10月5日	11月16日		
	フランス映画をもっと知りたい	11月16日	12月24日		
	今年は、どんな年?	12月24日	1月26日		
	お風呂でぼかぼか	1月26日	2月26日		
	たたかう女たち	2月26日	3月29日		
	春眠暁を覚えず	3月29日	-		
3F書架①(1門)	思索の入り口 - 哲学の扉を開く -	9月1日	12月7日	2	
	日本人のこころの奥 - 日本人をかたち作るもの -	12月9日	5月24日		
3F書架②(1門)	日本の神話とサルタヒコ	9月1日	12月15日	3	
	初詣	12月16日	3月4日		
	仏像を知る	3月5日	5月12日		

司書箱	3F書架③(9門)	重陽の節句	9月1日	9月17日	10
		忍者のいろいろ 山田風太郎 生誕100周年	9月17日	10月19日	
		平安貴族っておもしろい!	10月19日	11月2日	
		文字でジャズを聴く	11月3日	11月21日	
		ファンタジーの世界へようこそ	11月22日	12月21日	
		ユートピアの向こう側	12月22日	12月28日	
		今年こそ!	1月4日	1月16日	
		極め人たち	1月18日	2月7日	
		星が綺麗ですね。	2月8日	3月1日	
		家が紡ぎだす「物語」	3月1日	4月27日	
	3F書架④(9門)	文章から食欲を刺激されたい。	9月1日	9月20日	7
		名解説・迷?解説	9月20日	1月16日	
		にわかファンのための頼朝・義経の物語	10月16日	11月1日	
		1杯のお茶と	11月1日	11月21日	
		謎解き・ミステリ	11月22日	12月28日	
		あなたは何を超えますか?	1月5日	2月25日	
		時代を彩ったヒトたち	2月26日	6月9日	
	3F書架⑤(9門)	世界一周!	9月1日	9月17日	9
		外国のホラーで涼しさを	9月17日	10月16日	
		ウェールズ神話の世界へ	10月17日	11月1日	
		中国を知る	11月1日	11月21日	
		ムーミンと北欧文学	11月22日	12月12日	
		Merry Christmas	12月13日	12月28日	
		お隣の海外文学	1月5日	1月31日	
		悩ましきカタカナ	2月1日	2月28日	
		小説の醍醐味	3月1日	4月20日	
		3F書架⑥(4門)	感染症と向き合う人々	9月1日	
	実社会に使われる数学の世界		9月17日	10月21日	
	えっ!もうこんな時間!?		10月21日	11月2日	
	虚無		11月3日	11月21日	
	ストレス		11月22日	12月13日	
	美しき畏怖		12月13日	12月28日	
	レンズの向こうに		1月5日	2月7日	
推しのパンダが引越します。	2月7日		3月17日		
科学か魔法かオカルトか	3月17日	5月10日			
3F書架⑦(5門)	早く宇宙に行きたい。毛利衛さん、スペースシャトル搭乗から30年	9月1日	9月20日	8	
	「紙」のゆくえ	9月20日	10月13日		
	あの人たちは何を食べていた?	10月13日	11月10日		
	旅するキッチン	11月1日	11月21日		
	ユニバーサルデザイン	11月22日	12月28日		
	現実物語を超えるか	1月5日	2月5日		
	水俣から人新世まで	2月5日	3月2日		
	宝物の石	3月3日	4月30日		
トピック	1F階段下	開館記念講演会関連(上野千鶴子氏著作、木村草太氏著作)	9月1日	10月9日	7
		私の読書を記録する(読書ノート)	9月1日	9月14日	
		ジャン・リュック・ゴダール氏追悼	9月14日	9月19日	
		手話言語の国際デー	9月19日	10月7日	
		働くことと暮らすこと ~Lib活「after 5」ゼミ	10月7日	10月19日	
		子ども読書活動推進フォーラム関連	11月11日	12月11日	
		大江健三郎氏追悼	3月14日	3月21日	
計					123

イ 刊行物の発行

(ア) その他定期刊行物等の発行

次のような定期刊行物を引き続いて発行し、ホームページにも掲載した。

- ・「かながわ資料ニューズレター」の刊行（400部）：かながわ資料／新聞・雑誌室の利用促進を図る目的で刊行している広報誌で、新着資料の紹介等を掲載している。令和4年度は第78号を刊行し、県内公共図書館や県機関に配布した。
- ・「トピックスのとびら」：社会状況等を踏まえたテーマ設定を行い、メディア横断的に関連所蔵資料を紹介している。令和4年度はNo.177からNo.179を刊行した。
- ・「図書館ナビ」：資料探しの際に役立つ資料や情報を紹介するもので、本館開館に伴いNo.4～10の改訂版を刊行した。

ウ 講座等開催事業の実施

(ア) 講座等の開催

- ・本館オープニング記念事業

令和4年9月の本館開館を記念して、9月にオープニングセレモニー・記念イベント、10月に記念講演会を行った。

- ・その他の講座

新しい県立図書館のコンセプトである「価値を創造する図書館」を実現するために、これまでの講座を再編・発展させて、「Lib活」（リブカツ、“Library”＋“部活動”の造語）事業を開始した。「Lib活」では、「after5ゼミ」、「県民が編むかながわの半世紀」、「本を選び、本を読み、本を朗読する講座」の3本の講座を展開した。

また、「大人が始める学び方講座」を新たに始めたほか、「子ども読書活動推進フォーラム」など、これまで同様に開催する講座もあった。

令和4年度 開催講座一覧

※複数回開催日があるものは、参加者数は延べ人数

講座名	開催日時	参加者数 (人)	開催方法
本館オープニング記念イベント 本と人を結ぶ場所をつくる ～神奈川県立図書館本館リニューアルにおける試み～	9月1日	34	会場
本館開館記念講演会1 女性を取り巻く課題解決のために ～情報は力、学問は武器～ (上野千鶴子氏)	10月2日	118	オンライン併用
本館開館記念講演会2 憲法学者の図書館利用法 (木村草太氏)	10月9日	105	オンライン併用
Lib活 after5ゼミ 第1期テーマ 「働くことと暮らすこと」 *ファシリテーター 伊藤達矢氏	ガイダンス 10月7日,16日	38	会場
	第1回ゼミ:「仕事」って何だろう? (ナカムラケンタ氏)	34	会場
	第2回ゼミ: お金に負けない働き方 (吉田奈緒子氏)	31	会場
	第3回ゼミ: 最小単位で働く～個として働く面白さ～ (ミネシゴ氏、三根かよこ氏)	27	会場
	第4回ゼミ:「新しい仕事」を作るには? (幅允孝氏)	28	会場
	ブッククラブ (全4回)	12月4日,1月15日, 2月5日,3月5日	57 会場
Lib活 県民が編むかながわの半世紀 第1期 *コーディネーター兼アドバイザー 大西比呂志氏	ガイダンス 10月8日	13	会場
	研究会 (全5回)	11月5日,12月3日,1月28日, 3月4日,3月18日	42 会場
	実習日 (全5回)	11月19日,12月17日,1月21日, 2月18日,3月11日	43 会場
	郷土映像上映会 (全2回)	11月19日,1月21日	28 会場
Lib活 本を選び、本を読み、本を朗読する講座 (全6回) *講師 北村浩子氏	10月15日,11月13日,12月4日, 1月15日,2月19日,3月4日	83	会場
Wikipediaブガク8 川端康成	10月10日	13	会場
大人がはじめる学び方講座	これから求められるおとなの学び (柳川範之氏)	11月20日	44 オンライン併用
	人生100年時代の生き方・学び方、さあ、あなたの「脳」に目覚めよう!! (杉山崇氏)	11月23日	27 オンライン併用
大学で学ぼう～生涯学習フェア～	八洲学園大学「法律の学び方と向き合い方～著作権編」(藤森純一氏)	11月3日	62 会場
	横浜薬科大学「コロナに有効な漢方」(榎原麻氏)	11月3日	会場
	湘南医療大学「知って得する薬の知識」(加藤裕久氏)	11月6日	会場
	横浜市立大学「古事記を英訳する難題～イザナキとイザナミの神話を中心に～」(キロス イグナシオ氏)	11月6日	49 会場
図書館で資格を取ろう! 16ミリ映画機講習会	12月7日	12	会場
子ども読書活動推進フォーラム 事例発表、講演会「ヤングアダルト世代の皆さんのご質問にお答えして プラス十代のうちに経験しておいてよかったいくつかの事柄」(古内一絵氏)	12月11日	63	オンライン併用
青少年センター子どもフェスティバル 16ミリフィルムでアニメを見よう!	1月29日	37	会場
まいらいイベント 朗読会	3月4日	47	会場
ボランティア入門講座 役に立ちたいを実践へ (齊藤ゆか氏)	3月12日	40	会場
計			1,075

(5) 図書館運営の条件整備

ア 運営状況の点検・評価

(ア) 図書館アドバイザー・レクチャー制度の運営

両県立図書館が、有識者から、図書館の運営方針や運営方法などに関し、情報や助言等を得ることを目的として実施している。県立川崎図書館と共通のテーマを設定、相応しいアドバイザーの選定を行い、2名のアドバイザーを講師とする講義をリモートで聴講した。令和4年度は、湯浅俊彦氏（追手門学院大学国際教養学部教授）より「電子出版の進展と公共図書館の新たな役割」を、野口武悟氏（専修大学文学部教授）より「公共図書館における読書バリアフリーの推進：環

境整備とサービス提供のポイント」を、ご講義いただいた。

実施結果については、ホームページに公表している。

(イ) 活動評価の実施、公表

図書館運営を自己評価するために設定された活動指標について、数値目標を設けその達成状況を基に令和3年度の活動評価を行い、併せて令和4年度の数値目標を定めて公開した。県立の社会教育施設共通の評価項目と図書館独自の評価項目の2体系で活動評価を実施している。

(7 令和4年度 活動評価の概要 参照)

(ウ) 利用調査の実施

図書館の利用実態を把握し、利用者サービスの向上を図るため、来館された方を対象に、令和4年12月13日から12月18日にかけてアンケート調査を行い、919名の方から回答を得た。

アンケート調査結果については、分析結果と併せてホームページに公表した。

(エ) 職員の研修

従来は館内整理日を活用して、定例職場研修やミニレクチャーなど職員の知識や専門技術向上のための研修機会を設けていたが、新型コロナウイルス感染症への対応や本館開館準備等のため、令和4年度はカウンター研修以外の研修は行わなかった。また、県図書館協会をはじめ各種研修に参加し、その成果を共有して全職員のレベルアップにつなげ、利用促進や利用者の満足度向上を図った。

(オ) 職員による研究と発信

図書館の専門職として研修の講師を務めるなどのスキルアップに努め、また、その活動を所属でも支援した。さらに、職員の研究活動は当館の刊行物や図書館関連雑誌、学会誌等への論文の投稿など、研究成果の発表・発信を行って結実させ、また、県立の図書館職員全体の能力向上を図った。

イ 施設の整備

(ア) 施設の管理、維持修繕、備品整備

令和4年9月に新しく開館した本館を利用者及び職員に安全で快適な施設環境を提供するため、定期的な点検等を行った。

老朽化している前川國男館（昭和29年設置）、収蔵館（昭和47年設置）を利用者及び職員に安全で快適な施設環境を提供するため、定期的な点検や修繕が必要な箇所の修理、工事を行った。

また、令和5年度から予定している収蔵館の改修工事に伴い前川國男館へ移転する事務室等の執務環境整備の準備を進めた。

(イ) 環境マネジメントシステムの推進

環境に配慮した取組みを進めるため、環境マネジメントシステムによる目標・

プログラムを設定し、職員全員によるリサイクルとエネルギー使用量削減に取り組んだ。また、節電対策として太陽光発電、LED 照明の利活用による省エネルギーに努めた。

(6) 生涯学習事業の展開

ア 「PLANET かながわ」等による生涯学習情報の収集・提供、学習相談

インターネットを利用した生涯学習情報システム「PLANET かながわ」により、生涯学習に必要な幅広い情報を県民に提供した。また、令和4年8月までは前川國男館1階「生涯学習情報コーナー」において、令和4年9月以降は本館4階「生涯学習相談デスク」において生涯学習関連情報を配架するとともに、専門の相談員が常駐し、対面・電話・郵便・FAX・フォームメールによる学習相談に応じた。

「PLANET かながわ」 (令和4年度実績)

生涯学習情報システムのデータベース件数	14,195 件	
HP トップページへのアクセス数	29,863 件	
主なサブページアクセス件数	① 大学で学ぶ	15,603 件
	② PLANET かながわに登録する	5,728 件
	③ ボランティア	5,020 件

「生涯学習情報コーナー」 (令和4年度実績)

利用者数	12,414 人	
閲覧のみの来館者数	12,017 人	
来館による相談者数	349 人	
電話等による相談者数	48 人	
配架した生涯学習関連情報	2,931 件	
※チラシ・パンフレット等の内訳	講座・催し物	2,061 件
	施設・おでかけ	17 件
	資格・試験	163 件
	機関紙・総合誌	560 件
	その他	130 件

イ 大人がはじめる学び方講座の開催

学びの場を卒業した大人が「何を学ぶか」「どのように学ぶか」「どのように学んだことを活かすか」を改めて考える機会として「これから求められるおとなの学び」「人生 100 年時代の生き方・学び方、さあ、あなたの「脳」に目覚めよう!!」を開講し、県民の学習ニーズに応えることで、生涯学習の推進に努めた。初年度である令和4年度は11月20日、23日の2回開講、71日が参加し、大人の学びの意義について考えを深めた。

ウ かながわ大学生涯学習推進協議会を中心としたネットワークの推進

「かながわ大学生涯学習推進協議会」の事務局として協議会の運営にあたり、「第25回大学で学ぼう～生涯学習フェア～」(11月3日、6日)を開催し、大学における生涯学習の取組を推進するとともに、「令和4年度県内大学における生涯学習事業情報」をとりまとめた。

エ 生涯学習指導者等研修

市町村等の生涯学習関係の指導者及び助言者等を対象に、人材育成・問題解決能力の向上を目的として、「生涯学習指導者等研修」を実施した。

「生涯学習指導者等研修」実施状況(令和4年度実績)

社会教育担当者コース	4回・受講者 87人
公民館等担当者コース	5回・受講者 71人
読書活動実践コース	3回・受講者 182人

オ 体験活動・ボランティア活動の支援

「ボランティア入門講座」(1回・受講者 40人)を開催し、ボランティアを始めるために必要な知識や、ボランティア活動に関する情報を提供した。また、今年度から Lib 活「本を選び、本を読み、本を朗読する講座」(6回)を開催し、本の選び方や声の出し方、本の紹介方法等を学び、県立図書館ボランティアの養成にもつながった。

(7) 近隣公共施設との連携

紅葉ヶ丘地区にある公共施設5館(県立音楽堂、県立青少年センター、県立図書館、横浜市民ギャラリー、横浜能楽堂)の連携事業として、「紅葉ヶ丘まいらんさんぽマップ」の作成や、令和5年3月4日(土)には連携イベントを実施し、スタンプラリー・クイズラリーへの参加、また図書館独自の企画として県立青少年センターにて Lib 活受講生による朗読会を行った。また、9月15日(木)、11月29日(火)と2月1日(水)に行われた県立音楽堂主催「前川建築見学ツアー」に参加し、県立図書館の建築の魅力についてスライド資料や動画を提示しながら紹介を行った。

(8) 県立図書館の再整備の推進

これからの県立の図書館の目指す方向やそのあり方について、平成27年6月に設置した「県立図書館の再整備に向けた検討会」において、県生涯学習課、川崎図書

館とともに、図書館の再整備に向けた検討を進め、平成 28 年 10 月には「県立図書館の再整備に向けた基本的な考え方」としてとりまとめ、平成 30 年度には、教育局生涯学習部と連携して新棟新築工事調査設計をとりまとめた。

令和元年度、県立図書館や県立音楽堂から横浜能楽堂方面に抜ける通路の整備及び本館の北側庭園の植栽の整理や遊歩道等の設置など、同地域の景観改善や回遊性を図る工事を行った。また、本館建設のため、建設予定地内にあった収蔵庫の除却工事を行い、令和 2 年 11 月から工事着工し、「価値を創造する図書館」として機能の具体化に向けて必要な調整を関係機関と重ね、令和 4 年 9 月に本館を開館した。

また、令和 4 年 2 月から、令和 4 年 9 月開館に向けて、県立図書館本館に関する情報を発信するため、Instagram 公式アカウントを開設し、同年 3 月には、県立図書館のロゴマークを決定し、特設サイト（ティザーサイト）を開設した。特設サイトでは、本館開館に向けた準備の様子などを、Instagram と連携しながら随時公開することで情報を発信した。

再整備のため閉館している前川國男館の改修前の姿を記録する動画を作成し、ショート版を YouTube に公開した。

令和 4 年 4 月から本館を「前川國男館」に、9 月開館予定の新棟を新たな「本館」とし、新館は「収蔵館」と改称した。

令和 5 年度に工事開始を予定している収蔵館、前川國男館の改修に向けて、関係機関と調整を重ねた。

(9) 新型コロナウイルス感染症拡大予防対策

「県立図書館における新型コロナウイルス感染症拡大予防対策マニュアル」に基づき、来館者に入館の際の検温や手指消毒、マスクの着用等をお願いした。令和 4 年 8 月にはマスクの着用を常時着用から、対人距離がとられ、会話をしない場合を除いて着用する方針に改め、令和 5 年 3 月には、国や県の方針変更を踏まえ、マスクの着用を個人の判断とし、職員の着用も個人の判断とし、利用者に求められた場合は着用することとした。

7 活動評価(令和4年度)の概要

令和4年度の活動評価は、次のような結果となった。

※評価基準（達成度）は以下の通りである。

達成（目標値 \geq 100%） ○

ほぼ達成（目標値 \geq 80%） △

未達（目標値 $<$ 80%） ×

（各評価項目の詳細については、「図書館活動の評価と目標」備考欄（12～13p）参照）

ア 社会教育施設評価書の全館共通項目（5区分11項目 当館は10項目）

【利用状況】

評価項目	目標値	達成値	達成率	評価
① 利用者満足度	85%	90%	105.9%	○
《課題・対応の方向》 ・利用者アンケートの「全般的な満足度」平均点を基に算出した。人数比（『満足』『どちらかといえば満足』と回答した人数/回答者合計）は、96.2%。 ・アンケート結果を参考に、今後もより多くの方にさらに満足していただけるよう努力する。				
② 入館者	130,000人	170,724人	131.3%	○
《課題・対応の方向》 ・新しい本館開館の効果の表れと思われるが、引き続き魅力的な資料の収集、講座・展示の実施に努め、新たな利用者層の開拓とともに、リピーター層の増加にも努力する。				
③ 教育・普及事業への参加者	1,360人	1,353人	99.5%	△
《課題・対応の方向》 ・魅力的な講座・展示を企画し周知に努めるとともに、現地、オンライン等、開催方法を工夫し、なるべく多くの方に快適に受講していただけるよう努力する。				
④ インターネットアクセス	1,293,000件 県立図書館ホームページ 1,210,000件 PLANETかながわ 83,000件	1,365,588件 県立図書館ホームページ 1,296,570件 PLANETかながわ 69,018件	105.6%	○
《課題・対応の方向》 ・今後も魅力的なコンテンツを作成し、適宜更新していく。また、わかりやすく、使いやすいホームページを目指して努力していく。				

【資料・収蔵品】

評価項目	目標値	達成値	達成率	評価
⑤ 活用	660点 展示利用点数 540点 撮影・資料掲載 120点	3,214点 展示利用点数 3,051点 撮影・資料掲載 163点	487.0%	○
《課題・対応の方向》 ・達成値には、新しい本館に多くの展示コーナーを設置したことが影響したと思われる。今後も当館の資料を活用した展示を開催し、多くの方に当館所蔵資料を知っていただけるよう努める。				
⑥ 維持管理 (資料が棄損しないよう、防止対策を講じる)	資料の棄損を防止する	資料保存方針に従って適切な保存手当(修理、カビの除去、保存箱作成等)、除湿器の稼働等を行った。		○
《課題・対応の方向》 ・現在実施可能な劣化防止対策を進める。				

【調査研究】

評価項目	目標値	達成値	達成率	評価
⑦ 研究成果の公開 (発表・印刷物等)	56件	55件	98.2%	△
《課題・対応の方向》 ・引き続き研修・レファレンス協同データベース・講座講師等、研究成果の公開に努める。				

【情報発信】

評価項目	目標値	達成値	達成率	評価
⑧ 事業情報の発信 (ホームページ、SNS、定期刊行物等各種広報媒体)	400件	483件	120.8%	○
《課題・対応の方向》 ・今後も効果的な情報発信方法を模索しつつ、着実な情報発信に努める。				

【施設運営等】

評価項目	目標値	達成値	達成率	評価
⑨ 観覧料及び事業等収入	図書館は対象外			
⑩ 施設点検 (ユニバーサルデザイン化、高齢化、国際化等への対応)	ユニバーサルデザイン化、高齢化、国際化への対応が十分か、職員が他者目線で点検する。	ユニバーサルデザインに即した各種サインの設置、車いす対応席や拡大読書器、照明拡大鏡、AI通訳機・ポケット等々の提供を行った。	/	○
《課題・対応の方向》 ・今後も障がい者、高齢者、外国人など、図書館利用に障がいのある人々をはじめ、誰もが利用しやすくなるよう、取り組んでいく。				
⑪ 自己研鑽及び他館の研究 (館内研修や館外研修への参加、県内外図書館の見学等)	資料への知識、レファレンス能力、効果的な広報スキルなど専門的能力の向上	館内で行うカウンター研修等の実務研修だけでなく、図書館司書専門講座、全国図書館大会など、幅広い研修に参加した。	/	○
《課題・対応の方向》 ・今後も館内研修を行い実務能力を着実に養成するとともに、館外研修、他図書館や類縁機関の見学など、幅広い研修等に参加し、広い視野や専門的能力の向上に努める。				

イ 個別項目（6区分17項目）

【資料収集・整備】

評価項目	目標値	達成値	達成率	評価
① かながわ資料受入 (購入は除く)	1,900冊	1,848冊	97.3%	△
《課題・対応の方向》 ・引き続き刊行情報に注意し、速やかな収集・提供に努める。				
② 資料のデジタル化 (行政資料アーカイブ、神奈川県立図書館デジタルアーカイブの登録ファイル数)	480件	498件	103.8%	○
《課題・対応の方向》 ・問題点を把握し改善に努め、デジタル化した資料を利用者に提供できるよう、着実に作業を進める。				

【資料・情報の提供】

評価項目	目標値	達成値	達成率	評価
③ レファレンスサービス (個人及び県機関、県立高等学校等からのレファレンス件数)	4,100件	3,640件	88.8%	△
《課題・対応の方向》 ・引き続き、レファレンスサービスの広報に取り組むとともに、レファレンスの質の向上のため、職員の能力向上にも努める。				
④ 貸出数 (当館所蔵資料の個人利用者への貸出冊数)	70,000冊	76,527冊	109.3%	○
《課題・対応の方向》 ・今後も着実に所蔵資料の充実、アピールに努める。				
⑤ 書庫内資料の提供 (書庫内の資料をカウンターで利用者 に提供した点数)	30,000点	40,958点	136.5%	○
《課題・対応の方向》 ・今後も展示等で書庫内資料の紹介に努めるとともに、可能な限り速やかに提供できるよう努力する。				
⑥ 職員対応満足度	87%	90%	103.4%	○
《課題・対応の方向》 ・利用者アンケートの「職員対応満足度」平均点を基に算出した。人数比（『満足』『どちらかといえば満足』と回答した人数／回答者合計）は、85.0%。 ・今後も丁寧で誠実な対応に努める。				

【非来館型サービス】

評価項目	目標値	達成値	達成率	評価
⑦ 電子書籍の提供 (電子書籍の閲覧件数)	4,300件	4,880件	113.5%	○
《課題・対応の方向》 ・今後もコンテンツの充実と利用促進のための広報・周知に努める。				
⑧ デジタルアーカイブの提供 (行政資料アーカイブ、神奈川県立図書館デジタルアーカイブの利用回数)	26,400回	22,502回	85.2%	△
《課題・対応の方向》 ・今後もデジタル化資料の充実と利用促進のための広報・周知に努める。				

【連携・協力事業】

評価項目	目標値	達成値	達成率	評価
⑨ 県内市町村図書館等への資料提供	110,000冊	113,833冊	103.5%	○
《課題・対応の方向》 ・今後も、協力車、宅配などにより着実にハブとしての機能を発揮する。				
⑩ 上記のうち当館所蔵資料の提供	8,000冊	7,276冊	91.0%	△
《課題・対応の方向》 ・引き続き魅力的な資料の収集・提供に努める。				
⑪ 県外図書館等への貸出	240冊	306冊	127.5%	○
《課題・対応の》 ・引き続き魅力的な資料の収集・提供に努める。				
⑫ 県機関等への資料支援 (県機関、県立高等学校等への貸出数)	450冊	367冊	81.6%	△
《課題・対応の方向》 ・今後も県機関等を支援できる資料を収集し、利用促進のために周知するよう努める。				
⑬ 図書館職員の人材育成 (市町村図書館職員、県立高等学校司書等への研修件数)	10件	16件	160%	○
《課題・対応の方向》 ・今後も研修内容の充実等を図りながら、着実に人材育成に努める。				

【広報・普及活動】

評価項目	目標値	達成値	達成率	評価
⑭ 企画展示の実施	60回	136回	226.7%	○
《課題・対応の方向》 ・今後も所蔵資料を活用した魅力的な展示に努める。				
⑮ 見学、職業体験等の受入 (見学、職業体験、実習、インターンシップ等の受入れ件数)	12件	30件	250%	○
《課題・対応の方向》 ・達成値には、新しい本館開館が大きく影響していると思われるが、今後も図書館の魅力を体感できる機会を着実に提供していく。				

【生涯学習事業】

評価項目	目標値	達成値	達成率	評価
⑩ 生涯学習情報システム「PLANETかながわ」のデータベース	12,000件	14,195件	118.3%	○
《課題・対応の方向》 ・現行システムが終了する令和5年8月末に向けて、データベースは関係機関と調整しながら整理、消去する。9月以降の生涯学習情報の提供は新たなサイトで行う。				
⑪ 生涯学習情報提供 (配架した生涯学習関連情報の件数)	2,900件	2,931件	101.1%	○
《課題・対応の方向》 ・引き続き、多彩な生涯学習情報の収集に努める。				

事業統計 (令和4年度実績)

目 次

1	資料統計（総括）	1
2	図書館資料統計	1
	(1) 図書資料蔵書統計	1
	(2) 逐次刊行物資料統計	1
	(3) 視聴覚資料統計	2
	ア 資料	2
	イ 機材	2
3	閲覧室等利用統計	3
	(1) 閲覧室別利用統計	3
	(2) 県立図書館横浜西口カウンター利用統計	3
	(3) 視聴覚資料利用統計	3
	ア 視聴覚資料利用状況	3
	イ 市郡別16ミリ映画利用状況	4
	ウ 館内視聴覚資料利用統計	4
	(4) 登録状況統計（館外貸出登録者数累計）	4
	(5) 宅配貸出実績統計	5
	(6) 分類別貸出状況統計	5
	ア 図書	5
	イ 視聴覚（16ミリフィルム）	5
	(7) 16ミリ映写機操作技術認定証発行状況統計	5
	(8) 利用者用タブレット利用統計	5
4	図書館サービス統計	6
	(1) 月別レファレンス受付件数	6
	ア 閲覧室等	6
	イ 外部データベース等利用統計	6
	(2) 月別予約・リクエスト状況	6
	ア 図書資料	6
	イ 視聴覚資料	6
	(3) 閉架資料出納状況	7
	(4) 電子書籍サービス利用件数	7
	(5) 複写サービス	7
	(6) 障がい者サービス利用統計	8
	(7) 障がい者サービス登録状況統計	8
	(8) 写真撮影・資料掲載許可状況	9
	(9) ホームページアクセス、図書館情報ネットワーク（KL-NET）統計	9
5	図書館協力事業統計	10
	(1) 図書館協力貸出状況	10
	(2) 月別処理状況	10
	(3) 協力車巡回・宅配便発送状況	11
	(4) 視聴覚資料（16ミリフィルム）貸出協力車・宅配便利用状況	11
	(5) 県機関等への貸出状況	11
	(6) 相互貸借状況	11

(7) 特別館外貸出冊数	11
6 生涯学習関連事業統計	12
(1) 所蔵統計	12
ア 生涯学習情報システムのデータベース件数	12
イ 生涯学習情報コーナーに配架した生涯学習関連情報の件数	12
(2) 利用統計	12
ア 生涯学習情報コーナー利用実績表	12
イ 生涯学習相談状況	12
ウ 「PLANETかながわ」の利用状況	13
7 年度別統計	14
(1) 年度別蔵書冊数	14
(2) 年度別入館者数・個人貸出冊数	14
8 その他統計	15
(1) 神奈川関係文献情報の作成	15

1 資料統計（総括）

区 分	令和3年度末数	受 入	払 出	令和4年度末数
一 般 図 書 資 料	580,190 冊	14,266	107	594,349 冊
（ 外 国 語 資 料 ）	16,170 冊	(133)	(2)	(16,301) 冊
（ 男 女 共 同 参 画 関 連 資 料 ）	20,928 冊	(4,255)	(3)	(25,180) 冊
かながわ資料	149,237 冊	2,100	6	151,331 冊
特別コレクション等	224,714 冊	366	4,199	220,881 冊
図書資料合計	954,141 冊	16,732	4,312	966,561 冊
逐次刊行物	8,890 タイトル	25	5	8,910 タイトル
マイクロフィルム	2,472 巻	0	0	2,472 巻
CD-ROM	177 タイトル	3	0	180 タイトル
視聴覚資料	111,308 点	881	3	112,186 点
視聴覚機材	96 点	0	0	96 点
電子書籍		96	0	96 タイトル

*（ ）内は一般図書資料の内数

*電子書籍サービスは令和4年6月開始

2 図書館資料統計

(1) 図書資料蔵書統計

資料区分	令和3年度末冊数	受 入						払出	差 引 増 減	令和4年度末冊数
		購入	寄贈	管理換	編入	その他	小 計			
0 総 記	37,779	252	182	0	0	38	472	11	461	38,240
1 哲 学	35,293	615	101	0	0	71	787	2	785	36,078
2 歴 史	86,054	1,034	261	0	0	111	1,406	13	1,393	87,447
3 社 会 学 科 学	116,105	2,582	489	5	0	3,298	6,374	27	6,347	122,452
4 自 然 科 学	27,942	452	65	0	0	49	566	16	550	28,492
5 技 術	31,914	441	125	0	0	182	748	3	745	32,659
6 産 業	42,662	385	193	0	0	54	632	2	630	43,292
7 芸 術	55,567	778	544	0	0	41	1,363	7	1,356	56,923
8 言 語	12,779	315	69	0	0	3	387	1	386	13,165
9 文 学	92,005	932	135	2	0	157	1,226	3	1,223	93,228
児 童 書	42,090	157	97	0	0	51	305	22	283	42,373
小 計	580,190	7,943	2,261	7	0	4,055	14,266	107	14,159	594,349
内)外国語資料	(16,170)	(2)	(129)	(0)	(0)	(2)	(133)	(2)	(131)	(16,301)
内)高等学校学習支援資料	(301)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(301)
内)男女共同参画関連資料	(20,928)	(277)	(0)	(0)	(0)	(3,978)	(4,255)	(3)	(4,252)	(25,180)
かながわ資料	149,237	252	1,315	1	140	392	2,100	6	2094	151,331
特別コレクション等	224,714	21	339	0	0	6	366	4,199	△ 3,833	220,881
合 計	954,141	8,216	3,915	8	140	4,453	16,732	4,312	12,420	966,561

(2) 逐次刊行物資料統計

(単位：タイトル)

資料区分	令和3年度末 現在数	令和4年度増減内訳			令和4年度末現在数					
		新規受入		払 出	継続収集タイトル		終刊・中断 タイトル			
		購入	寄贈		購入	寄贈				
雑 誌	一 般 雑 誌	6,343	2	17	4	※1	6,359	267	2,150	3,942
	外 国 語 資 料	181	0	0	0		181	15	1	165
	神 奈 川 資 料	1,646	0	3	0	※2	1,648	0	440	1,208
	男女共同参画関連資料	491	0	3	0		494	40	102	352
	計	8,661	2	23	4		8,682	322	2,693	5,667
新 聞	一 般 新 聞	92	0	0	1		91	8	6	77
	外 国 語 資 料	3	0	0	0		3	3	0	0
	神 奈 川 資 料	95	0	0	0		95	12	59	24
	計	190	0	0	1		189	23	65	101
官 報・ 法 規	一 般 資 料	8	0	0	0		8	4	0	4
	神 奈 川 資 料	31	0	0	0		31	1	13	17
	計	39	0	0	0		39	5	13	21
合 計	8,890	2	23	5		8,910	350	2,771	5,789	

※1～2 令和4年度中に資料区分を「神奈川県資料」から「一般雑誌」に変更した資料があるため、「令和4年度末現在数」は「令和3年度末現在数」に「新規受入」及び「払出」を足し引きした数と一致しない。

(3) 視聴覚資料統計

ア 資料

資料区分	令和3年度 末現在数	受 入						払出	令和4年度 末現在数	
		購入	寄贈	管理換	制作	その他	計			
資 料 画 映	70ミリフィルム (本)	1	0	0	0	0	0	0	1	
	35ミリフィルム (本)	10	0	0	0	0	0	0	10	
	フ ィ ル ム ミ リ	一般映画 (本)	3,252	0	0	0	0	0	0	3,252
		神奈川ニュース (本)	624	0	0	0	0	0	0	624
		小 計 (本)	3,876	0	0	0	0	0	0	3,876
	8ミリフィルム (本)	109	0	0	0	0	0	0	109	
	小 計 (本)	3,996	0	0	0	0	0	0	3,996	
	ビデオテープ (本)	6,038	0	0	0	0	0	0	6,038	
	レーザーディスク (枚)	929	0	0	0	0	0	0	929	
	D V D (点)	1,697	0	51	0	0	0	51	1,748	
	CD-ROM、DVD-ROM (点)	6	0	0	0	0	0	0	4	
	ス ラ イ ド (枚)	99	0	0	0	0	0	0	99	
	レ コ ー ド	L P (枚)	41,910	0	0	0	0	0	0	41,910
		E P (枚)	14,520	0	0	0	0	0	0	14,520
		S P (枚)	13,489	0	0	0	0	0	0	13,489
		小 計 (枚)	69,919	0	0	0	0	0	0	69,919
コンパクトディスク (点)	20,808	574	255	0	0	1	830	1	21,637	
録音テープ (巻)	4,308	0	0	0	0	0	0	0	4,308	
楽 譜 (冊)	3,508	0	0	0	0	0	0	0	3,508	
計	111,308	574	306	0	0	1	881	3	112,186	

イ 機 材

資料区分	令和3年度末 現在数	受 入	払 出	令和4年度末 現在数
16ミリ映写機 (台)	24	0	0	24
8ミリ映写機 (台)	1	0	0	1
スライド映写機 (台)	2	0	0	2
暗 幕 (台)	9	0	0	9
スクリーン (本)	7	0	0	7
カセットテーププレーヤー (台)	5	0	0	5
レコードプレーヤー (台)	2	0	0	2
パワーアンプ (台)	2	0	0	2
コンパクトディスクプレーヤー (台)	2	0	0	2
ビデオテープデッキ (台)	7	0	0	7
レーザーディスクプレーヤー (台)	3	0	0	3
D V D プレーヤー (台)	3	0	0	3
液晶プロジェクター (台)	4	0	0	4
モ ニ タ ー (台)	16	0	0	16
ビデオ編集機 (台)	3	0	0	3
そ の 他	6	0	0	6
計	96	0	0	96

3 閲覧室等利用統計

(1) 閲覧室別利用統計

区分	年月 開館日数	4/4	5	6	7	8	9	10	11	12	5/1	2	3	合計	一日 平均	前年度	
		閲覧室名	16	25	25	27	11	26	26	25	23	23	23	26	276	-	累計
入館者数		3,794	6,529	7,943	7,234	3,069	24,377	23,163	20,264	15,505	20,369	19,111	19,366	170,724	618.6	111,819	374.0
	静寂読書室	-	-	-	-	-	1,418	948	752	621	787	786	674	5,986	21.7	-	-
	研究ブース	-	-	-	-	-	5,874	5,782	5,661	4,585	5,615	5,976	5,392	38,885	140.9	-	-
	研究個室	-	-	-	-	-	538	601	606	529	585	562	607	4,028	14.6	-	-
	ディスカッションルーム	-	-	-	-	-	113	86	86	20	72	75	73	525	1.9	-	-
新規館外貸出登録者数	本館	39	44	72	66	25	2,130	1,065	786	497	812	673	552	6,761	24.5	2,456	8.9
	横浜西口カウンター	18	20	25	29	64	55	26	24	13	23	16	23	336	-	188	-
	合計	57	64	97	95	89	2,185	1,091	810	510	835	689	575	7,097	25.7	2,644	9.6
貸出点数	本館(図書資料)	560	113	89	69	187	9,017	8,185	6,819	6,497	7,466	6,669	6,538	52,209	189.2	55,620	201.5
	本館(視聴覚資料)	1,323	1,834	1,618	1,636	787	1,779	1,750	1,606	1,558	1,453	1,484	1,958	18,786	68.1	25,833	93.6
	横浜西口カウンター	220	81	24	97	20	757	717	707	650	746	714	799	5,532	-	9,207	-
	合計	2,103	2,028	1,731	1,802	994	11,553	10,652	9,132	8,705	9,665	8,867	9,295	76,527	277.3	64,827	234.9

* 横浜西口カウンターの貸出冊数は、県立所蔵の図書のみ。

* 令和4年4～8月は臨時閲覧室として開室、9月に本館開館

* 静寂読書室、研究ブース、研究個室、ディスカッションルームは令和4年9月新設

(2) 県立図書館横浜西口カウンター利用統計

区分	4/4	5	6	7	8	9	10	11	12	5/1	2	3	合計	前年度	
利用可能日	22	31	29	31	30	30	30	30	27	28	26	29	343	353	
貸出冊数	県立図書館	220	81	24	97	20	757	717	707	650	746	714	799	5,532	9,207
	県立川崎図書館	250	210	285	165	160	186	159	171	209	196	136	171	2,298	2,652
	合計	470	291	309	262	180	943	876	878	859	942	850	970	7,830	11,859
返却冊数	1,015	810	449	307	271	726	1,491	1,468	1,288	1,473	1,304	1,450	12,052	15,805	

* 平成18年10月1日利用開始

* 返却冊数は県立の2館の合計

(3) 視聴覚資料利用統計

ア 視聴覚資料等利用状況

資料区分		貸出点数	
		令和4年度	前年度
資	16 ミリ映画	49 (0.2)	33 (0.1)
	小計	49 (0.2)	33 (0.1)
料	8 ミリ映画	0 (0.0)	0 (0.0)
	ビデオテープ	154 (0.6)	226 (0.8)
	スライド	0 (0.0)	0 (0.0)
	レコード	556 (2.0)	859 (3.1)
	SPレコード	0 (0.0)	0 (0.0)
	コンパクトディスク	17,826 (64.6)	24,502 (88.8)
	カセットテープ	250 (0.9)	246 (0.9)
	小計	18,786 (68.1)	25,833 (93.6)
	中計	18,835 (68.2)	25,866 (93.7)
機	16 ミリ映写機	2	2
	8 ミリ映写機	0	0
	スライド映写機	0	0
	スクリーン	0	0
	映写機付属品	0	0
	その他	1	2
	小計	3	4
	合計	18,838	25,870

* 資料の()内の数字は1日平均貸出点数

* 平成28年度からインターネット経由での延長を含む。

イ 市郡別16ミリ映画利用状況

区 分	貸 出 点 数		映写会等上映回数		鑑 賞 者 数	
	令和4年度	前年度	令和4年度	前年度	令和4年度	前年度
横 浜 市	29	24	5	9	74	377
川 崎 市	0	0	0	0	0	0
相 模 原 市	0	0	0	0	0	0
横 須 賀 市	14	7	14	5	478	125
平 塚 市	0	0	0	0	0	0
鎌 倉 市	4	2	3	1	22	39
藤 沢 市	0	0	0	0	0	0
小 田 原 市	0	0	0	0	0	0
茅ヶ 崎 市	0	0	0	0	0	0
逗 子 市	0	0	0	0	0	0
三 浦 市	0	0	0	0	0	0
秦 野 市	2	0	1	0	6	0
厚 木 市	0	0	0	0	0	0
大 和 市	0	0	0	0	0	0
伊 勢 原 市	0	0	0	0	0	0
海 老 名 市	0	0	0	0	0	0
座 間 市	0	0	0	0	0	0
南 足 柄 市	0	0	0	0	0	0
綾 瀬 市	0	0	0	0	0	0
三浦郡(葉山町)	0	0	0	0	0	0
高座郡(寒川町)	0	0	0	0	0	0
中 郡	0	0	0	0	0	0
足 柄 上 郡	0	0	0	0	0	0
足 柄 下 郡	0	0	0	0	0	0
愛 甲 郡	0	0	0	0	0	0
合 計	49	33	23	15	580	541

ウ 館内視聴覚資料利用統計

16ミリ フィルム		ビデオ テープ		レーザー ディスク		DVD		レコード		CD		カセッ ト テープ		楽譜		図書 音楽バンフ レット含む		計	
人数	点数	人数	点数	人数	点数	人数	点数	人数	点数	人数	点数	人数	点数	人数	点数	人数	点数	人数	点数
0	0	30	60	46	46	104	108	27	29	23	43	0	0	0	0	1	8	231	294

前年度実績																			
0	0	117	143	165	170	336	384	78	99	99	178	7	9	12	19	4	10	818	1,012

*令和4年9月より館内視聴休止

(4) 登録状況統計 (館外貸出登録者数累計)

令和4年度末現在

区 分	個人	視聴覚団体	区 分	個人	視聴覚団体	
横 浜 市	13,632	5	足柄上地区	27	0	
川 崎 市	780	0	西 湘 地 区	69	0	
横 須 賀 市	965	1	県内 在勤者 在学者	東京都	201	0
三 浦 地 区				その他	59	0
県 央 地 区	571	0				
湘 南 地 区	861	0	合 計	17,165	6	

横須賀三浦地区 [横須賀市・鎌倉市・逗子市・三浦市・葉山町]

県央地区 [相模原市・厚木市・大和市・海老名市・座間市・綾瀬市・愛川町・清川村]

湘南地区 [平塚市・藤沢市・茅ヶ崎市・秦野市・伊勢原市・寒川町・大磯町・二宮町]

足柄上地区 [南足柄市・中井町・大井町・松田町・山北町・開成町]

西湘地区 [小田原市・箱根町・真鶴町・湯河原町]

(5) 宅配貸出実績統計 (平成22年3月より実施)

年 度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
登録者数(人)	44	120	59	149
貸出者数(人)	71	453	177	106
貸出冊数(冊)	209	1,598	505	449

(6) 分類別貸出状況統計

ア 図書

資料区分	令和4年度		前 年 度	
	冊 数	構成比(%)	冊 数	構成比(%)
0 総 記	2,056	3.9	1,750	3.1
1 哲学・宗教	4,341	8.3	5,248	9.4
2 歴史・地誌	6,636	12.7	7,589	13.6
3 社会科学	13,384	25.6	14,642	26.3
4 自然科学	2,383	4.6	2,477	4.5
5 工 業	1,596	3.1	1,725	3.1
6 産 業	1,580	3	2,135	3.8
7 芸 術	5,344	10.2	5,833	10.5
8 語 学	1,268	2.4	1,516	2.7
9 文 学	7,607	14.6	8,639	15.5
国際資料	234	0.4	176	0.3
児童書	3,856	7.4	2,803	5.0
その他	1,924	3.7	1,087	2.0
合 計	52,209	100.0	55,620	100.0

イ 視聴覚 (16ミリフィルム)

A/VM分類	令和4年度 貸出点数	前年度 貸出点数	
00 生活文化	3	1	
10 スポーツ	0	0	
20 歴史	0	0	
30 社会科学	2	1	
40 自然科学	0	0	
50 工学	0	0	
60 産 業	0	0	
70	芸術	44	31
	(劇映画)	(6)	(3)
	(動画)	(38)	(28)
80 言語	0	0	
90 文芸	0	0	
合 計	49	33	

(7) 16ミリ映写機操作技術認定証発行状況統計

操作技術認定講習会主催者	講習会 実施回数	発行件数
県立図書館	1	14
大和市立視聴覚ライブラリー	0	0
平塚市中央図書館	0	1
秦野市立図書館	0	0
藤沢市総合市民図書館	1	14
小田原市立かもめ図書館	0	0
鎌倉市中央図書館	0	0
その他		0
(4年度新規発行分計)		28
(4年度再発行分計)		1
(年度計)	-	29
(累計)		55,153

※ 令和3年度末累計 55,124 件

(8) 利用者用タブレット利用統計

区 分	利 用 件 数	
	令和4年度	前年度実績
本 館	243	-

※令和4年9月より開始

4 図書館サービス統計

(1) 月別レファレンス受付件数

ア 閲覧室等

区 分	令和4年度	令和4年度計	一日平均	分野別内訳				方法別内訳			
				人文科学	社会産業	自然理工	芸術語学文学	口頭	電話	文書(FAXを含む)	メール
本館(障がい者サービス含む)	令和4年度	3,613	13.1	1,299	780	368	1,166	2,084	1,037	139	353
	(前年度)	3,069	10.3	837	759	409	1,064	1,303	1,578	12	176
協力室(高校連携事業含む)		27	0.1	11	4	4	8	0	6	0	21
うち 神奈川関連		768	2.8	480	196	37	55	-	-	-	-
合 計		3,640	13.2	1,310	784	372	1,174	2,084	1,043	139	374

*「うち神奈川関連」については、方法別内訳の統計を取っていない。

イ 外部データベース等利用統計

区 分	官報情報	D1-Law.com Nexis	日経テレコン(定額)	日経テレコン(従量)	ヨミダス歴史館	神奈川新聞社WEBマイクロフィルム	朝日新聞クロスサーチ	産経新聞データベース	毎索	国会デジタル	MagazinePlus	れきおん	合計	1日平均
本館	26	112	30	0	63	204	117	14	46	162	4	2	780	2.8
協力室	0	0	1	0	0	1	1	0	0	11	0	0	14	0.1
合 計	26	112	31	0	63	205	118	14	46	173	4	2	794	2.9

*平成29年度より大宅壮一文庫雑誌記事索引の提供廃止。

前年度	778	2.6
-----	-----	-----

(2) 月別予約・リクエスト状況

ア 図書資料

区 分	年月	4月												令和4年度		前年度		
		4/4	4/5	4/6	4/7	4/8	4/9	4/10	4/11	4/12	4/1	4/2	4/3	合計	1日平均	合計	1日平均	
受付方法別	来館・電話	47	19	36	34	9	214	165	194	160	201	202	190	1,471	5.3	1,559	5.2	
	インターネット	546	188	141	124	44	1,916	1,537	1,563	1,488	1,694	1,538	1,702	12,481	45.2	12,681	42.4	
	計	593	207	177	158	53	2,130	1,702	1,757	1,648	1,895	1,740	1,892	13,952	50.6	14,240	47.6	
処理件数	提供数	486	158	154	123	42	1,395	1,438	1,386	1,337	1,413	1,377	1,606	10,915	39.5	10,278	34.4	
	内訳	購入	0	0	0	0	0	1	0	2	2	0	3	6	14	0.1	39	0.1
		借用	198	101	111	112	37	53	65	54	48	52	63	70	964	3.5	812	2.7

イ 視聴覚資料

区 分	年月	4月												令和4年度		前年度	
		4/4	4/5	4/6	4/7	4/8	4/9	4/10	4/11	4/12	4/1	4/2	4/3	合計	1日平均	合計	1日平均
受付数	来館・電話	45	41	79	46	25	33	24	23	18	32	30	38	434	1.6	488	1.8
	インターネット	497	815	689	748	492	948	1,014	950	949	893	953	1,284	10,232	37.1	7,779	28.2
	計	542	856	768	794	517	981	1,038	973	967	925	983	1,322	10,666	38.6	8,267	30.0
提供数		488	828	737	747	506	924	939	899	915	804	826	1,254	9,867	36	7,855	26.3

(3) 閉架資料利用状況

(新聞・雑誌はマイクロフィルムを含む)

年月		4/4	5	6	7	8	9	10	11	12	5/1	2	3	合計
区分	窓口での閉架資料依頼件数	35	61	60	54	20	1187	1006	951	811	897	861	808	6751
一般書	利用点数	0	0	0	0	0	3,343	2,859	2,846	2,579	2,834	2,698	2,642	19,801
	一日平均	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	128.6	110.0	113.8	112.1	123.2	117.3	101.6	71.7
資料 視聴覚	利用点数	92	161	100	115	69	1,620	1,651	1,514	1,488	1,368	1,428	1,880	11,486
	一日平均	5.8	6.4	4.0	4.3	6.3	62.3	63.5	60.6	64.7	59.5	62.1	72.3	41.6
資料 神奈川	利用点数	0	0	0	0	0	194	287	267	217	199	165	176	1,505
	一日平均	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.5	11.0	10.7	9.4	8.7	7.2	6.8	5.5
新聞・雑誌	利用点数	0	0	0	0	0	1,330	1,314	1,090	713	964	905	1,850	8,166
	一日平均	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	51.2	50.5	43.6	31.0	41.9	39.3	71.2	29.6
合計		92	161	100	115	69	6,487	6,111	5,717	4,997	5,365	5,196	6,548	40,958
一日平均		5.8	6.4	4.0	4.3	6.3	249.5	235.0	228.7	217.3	233.3	225.9	251.8	148.4

*令和4年4～8月は臨時閲覧室として開室のため視聴覚資料以外の書庫出納休止

(4) 電子書籍サービス利用件数

年月		4/4	5	6	7	8	9	10	11	12	5/1	2	3	合計
区分	利用件数	-	-	869	393	437	501	512	308	306	284	964	306	4,880

*令和4年6月よりサービス開始

(5) 複写サービス

(上段は件数、下段は枚数)

年月		4/4	5	6	7	8	9	10	11	12	5/1	2	3	合計
来館複写	件数	16	31	40	28	15	484	496	494	444	426	423	380	3,277
	枚数	294	548	468	363	205	12,564	12,669	10,715	11,447	9,610	12,430	11,459	82,772
郵送複写	件数	0	0	0	1	0	9	8	9	8	10	7	20	72
	枚数	0	0	0	62	0	59	103	195	109	70	68	512	1,178
合計	件数	16	31	40	29	15	493	504	503	452	436	430	400	3,349
	枚数	294	548	468	425	205	12,623	12,772	10,910	11,556	9,680	12,498	11,971	83,950
一日平均	件数	1.0	1.2	1.6	1.1	1.4	19.0	19.4	20.1	19.7	19.0	18.7	15.4	12.1
	枚数	18.4	21.9	18.7	15.7	18.6	485.5	491.2	436.4	502.4	420.9	543.4	460.4	304.2
前年度実績	件数	424	585	590	492	523	530	555	561	493	429	494	538	6,214
	枚数	11,091	12,555	14,206	10,221	11,319	11,937	11,781	11,461	9,751	7,920	9,360	10,623	132,225
一日平均	件数	17.7	22.5	23.6	18.9	20.1	20.4	21.3	23.4	21.4	18.7	21.5	19.9	20.8
	枚数	462.1	482.9	568.2	393.1	435.3	459.1	453.1	477.5	424.0	344.3	407.0	393.4	442.2

(6) 障がい者サービス利用統計

区分		年月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	5	6	7	8	9	10	11	12	5	6	7	8	9	10	11	12	合計	前年度				
		4	5	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
新規登録者数	対面朗読	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
	図書郵送貸出	1	0	0	0	1	1	0	2	0	2	3	1	11	8																			
	録音資料郵送貸出	1	0	0	0	1	1	1	0	0	0	3	1	8	4																			
対面朗読	利用者数	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	6	0																			
	時間数	0	0	0	0	0	0	2	2	2	2	2	2	12	0																			
図書郵送貸出	利用者数	6	5	5	8	2	13	3	6	13	8	13	24	106	107																			
	冊数	8	6	7	8	2	24	4	10	27	9	18	30	153	199																			
視聴覚資料郵送貸出	利用者数	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	1	3	3																			
	点数	0	0	0	1	0	0	0	6	0	0	0	1	8	4																			
CD郵送貸出	利用者数	3	1	4	1	0	2	5	2	2	1	3	2	26	22																			
	点数	11	1	15	5	0	9	17	6	9	1	11	9	94	78																			
相互貸借	借用点数	5	6	5	7	2	12	3	3	9	4	6	14	76	84																			
	貸出点数	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0																			

(7) 障がい者サービス登録状況統計（登録者数累計） 令和4年度末現在

登録者数累計		81
利用内容 (複数選択可)	対面朗読	2
	図書郵送貸出	44
	視聴覚資料郵送貸出	35

(8) 写真撮影・資料掲載許可状況

区 分		令和4年度		前年度	
		申込数	点数	申込数	点数
写真撮影	一般資料・視聴覚資料	2	2	7	11
	神奈川資料	4	14	6	72
	新聞・雑誌	0	0	1	11
	合計	6	16	14	94
資料掲載	一般資料・視聴覚資料	6	8	6	35
	神奈川資料	35	139	33	133
	新聞・雑誌	0	0	4	19
	合計	41	147	43	187

(9) ホームページアクセス、図書館情報ネットワーク (KL-NET) 統計

区分 年月	県立2館ホームページアクセス回数						K L - N E T 貸出件数					
	2館共通 トップ ページ	情報検索				レ フ ア メ ー ル ス	合 計	相互貸借 管理 システム ログイン 件数	総貸出件数			
		所蔵検索	携帯 電話用 OPAC*1	横断検索	計				相互貸借管理システム貸出件数	県立の 図書館	市町村 図書館	大学・ 専門・ 県機関等
4/4	30,060	6,389	712	47,421	54,522	566	85,148	10,268	137	8,843	218	9,198
5	29,666	5,781	725	52,236	58,742	492	88,900	8,771	125	8,987	240	9,352
6	29,548	7,281	594	51,563	59,438	539	89,525	10,179	99	9,699	300	10,098
7	29,315	6,834	579	48,219	55,632	458	85,405	9,856	86	9,145	282	9,513
8	33,191	6,537	808	48,941	56,286	498	89,975	9,495	278	9,226	227	9,731
9	69,659	11,695	2,272	51,113	65,080	766	135,505	11,138	1,147	8,492	223	9,862
10	47,889	10,847	1,735	50,027	62,609	555	111,053	8,177	1,140	8,684	214	10,038
11	48,577	10,221	1,638	46,224	58,083	594	107,254	11,646	1,195	8,079	238	9,512
12	47,339	9,565	1,455	44,746	55,766	547	103,652	6,611	1,097	7,330	170	8,597
5/1	54,957	10,023	1,850	48,499	60,372	583	115,912	9,430	1,185	7,849	181	9,215
2	49,486	8,393	1,445	47,202	57,040	529	107,055	8,874	1,166	7,868	229	9,263
3	47,900	8,960	1,380	51,189	61,529	492	109,921	10,288	1,273	8,543	208	10,024
合計	517,587	102,526	15,193	587,380	705,099	6,619	1,229,305	114,733	8,928	102,745	2,730	114,403

* 令和4年度末相互貸借管理システム参加機関数 106館

* 1 令和3年4月より携帯opacの他、スマホopacの詳細検索画面にアクセスした回数もカウントしている。

5 図書館協力事業統計

(1) 図書館協力貸出状況

借受館名	協力貸出図書冊数			借受館名	協力貸出図書冊数		
	県立2館所蔵	市町村所蔵ほか	合計		県立2館所蔵	市町村所蔵ほか	合計
横浜市	696	10,910	11,606	大井町	18	453	471
川崎市	672	6,084	6,756	松田町	14	398	412
相模原市	981	8,320	9,301	山北町	34	177	211
横須賀市	394	4,757	5,151	開成町	71	334	405
平塚市	342	3,497	3,839	箱根町	13	347	360
鎌倉市	1,119	11,202	12,321	真鶴町	98	778	876
藤沢市	628	12,971	13,599	湯河原町	90	822	912
小田原市	348	4,673	5,021	愛川町	73	755	828
茅ヶ崎市	215	3,279	3,494	清川村	14	474	488
逗子市	207	1,938	2,145	横浜国立大学	67	126	193
三浦市	37	669	706	鶴見大学	2	0	2
秦野市	237	1,497	1,734	神奈川大学	34	81	115
厚木市	714	7,285	7,999	保健福祉大学	2	4	6
大和市	225	5,137	5,362	東京工業大学	5	78	83
伊勢原市	183	2,442	2,625	総合研究大学院大学	4	19	23
海老名市	174	2,658	2,832	桐蔭横浜大学	45	18	63
座間市	417	3,950	4,367	横浜市立大学	9	15	24
南足柄市	100	786	886	小田原短期大学	2	15	17
綾瀬市	80	1,697	1,777	男女共同参画センター	1	49	50
葉山町	74	1,828	1,902	産業技術総合研究所	0	2	2
寒川町	48	747	795	総合教育センター	6	22	28
大磯町	108	1,645	1,753	あーすぶらざ	4	19	23
二宮町	115	1,843	1,958	県政情報センター	0	0	0
中井町	32	280	312	計	8,752	105,081	113,833
				前年度	13,783	104,403	118,186
				県立川崎	4,629	625	5,254
				県立川崎を含む計	13,381	105,706	119,087
				県立川崎を含む前年度	19,963	104,789	124,752

(2) 月別処理状況

年月	貸出冊数	内 訳				手 段 別	
		所 蔵	購 入	県立川崎から借受	他館から借受	協力車	宅配便
4/4	9,272	296	0	64	8,912	5,013	4,259
5	9,446	162	0	107	9,177	4,857	4,589
6	10,293	105	0	90	10,098	5,301	4,992
7	9,307	74	0	77	9,156	5,080	4,227
8	9,678	60	0	129	9,489	4,566	5,112
9	11,398	1,781	4	136	9,477	6,015	5,383
10	9,859	1,456	3	158	8,242	5,293	4,566
11	10,067	1,576	4	143	8,344	4,986	5,081
12	9,469	1,565	0	147	7,757	5,093	4,376
5/1	9,590	1,585	5	123	7,877	4,870	4,720
2	9,578	1,523	7	155	7,893	5,116	4,462
3	11,130	1,686	2	158	9,284	5,824	5,306
合計	119,087	11,869	25	1,487	105,706	62,014	57,073
前年度	124,752	18,213	40	1,710	104,789	65,028	59,724

※ 「貸出冊数」は、下記の理由等により、p10(8)の「相互貸借管理システム貸出件数計」と一致しない

- ・資料が貸出館から発送された月で計上している。
- ・両県立資料の県立川崎図書館予約者への貸出を含む（相互貸借システムで貸出処理を行っていない）。

(3) 協力車巡回・宅配便発送状況

区 分	年 月	4									5			合	前年度
	／	4	5	6	7	8	9	10	11	12	／	1	2	3	
協力車	巡回延日数	20	21	24	24	21	23	22	23	22	21	21	25	267	267
	巡回延館数	104	103	124	127	105	123	116	117	116	108	109	132	1,384	1,278
宅配便個数		352	342	389	379	399	417	382	408	352	371	359	444	4,594	4,813

(4) 視聴覚資料（16ミリフィルム）貸出協力車・宅配便利用状況

区 分	年 月	4									5			合	前年度
	／	4	5	6	7	8	9	10	11	12	／	1	2	3	
貸出点数	協力車	0	0	1	1	3	0	4	2	4	0	0	1	16	10
	宅配便	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	直接受領	0	0	0	5	5	0	4	0	11	0	0	8	33	23

* 「直接受領」は、利用者が直接来館の上、貸出したもの。

(5) 県機関等への貸出状況

区 分	年 月	4									5			合	登録抹消	4年度末累計	前年度
	／	4	5	6	7	8	9	10	11	12	／	1	2	3			
登録機	県立高校等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	141	144
利用機関数	県立高校等	0	1	0	0	0	17	14	19	8	19	14	10	102			282
	その他の機関	0	0	1	0	0	7	8	7	7	9	6	3	48			
	合 計	0	1	1	0	0	24	22	26	15	28	20	13	150			
貸出冊数	県立高校等	0	1	0	0	0	49	29	66	14	48	29	15	251			713
	その他の機関	0	0	10	0	0	15	10	22	24	13	13	9	116			
	合 計	0	1	10	0	0	64	39	88	38	61	42	24	367			

* 「県立高校等」とは、「県立の図書館と県立高等学校による連携・協力事業」実施校と「県立の図書館と県内私立高等学校等による連携・協力事業」実施校を指す

(6) 相互貸借状況

相手館別内訳冊数

区 分	国立国会	他 都 道 府 県 公 共 図 書 館			そ の 他	合 計	前年度	
	図書館	県立図書館	市区立図書館	町村立図書館				
貸 出			120	170	6	10	306	520
借 用	8		107	25	0	8	148	245

* 県内協力貸出を除く。

(7) 特別館外貸出冊数

区 分	県 内					県 外					合 計	前年度	
	公共図書館	大学図書館	県機関	報道機関	その他	公共図書館	大学図書館	県機関	報道機関	その他			
一般図書資料・視聴覚資料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	28
神奈川資料新聞・雑誌	0	0	20	0	1	2	0	2	0	0	0	25	18
合 計	0	0	20	0	1	2	0	2	0	0	0	25	46

6 生涯学習関連事業統計

(1) 所蔵統計

ア 生涯学習情報システムのデータベース件数

区分		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
生涯学習情報システムのデータベース件数	施設	5,026 件	5,014 件	1,959 件	1,959 件
	講座情報	3,039 件	718 件	888 件	1,244 件
	うち、子ども向け情報	— 件	(12) 件	(14) 件	(17) 件
	催し物（イベント等）情報	2,050 件	323 件	330 件	484 件
	うち、子ども向け情報	— 件	(22) 件	(31) 件	(164) 件
	ボランティア情報	90 件	1 件	8 件	7 件
	おでかけ情報	1,742 件	1,716 件	791 件	792 件
	団体・グループ情報	6,783 件	6,358 件	5,720 件	5,655 件
	指導者・人材情報	2,602 件	2,575 件	2,094 件	2,049 件
	資格・試験情報	— 件	— 件	— 件	— 件
	教材・機器情報	2,223 件	2,261 件	596 件	596 件
	文化財情報	1,090 件	1,095 件	1,109 件	1,131 件
	出土品情報	278 件	278 件	278 件	278 件
計	24,923 件	20,339 件	13,773 件	14,195 件	

* 年間提供データ

* 平成30年度「PLANETかながわ」リニューアルにより資格・試験を廃止

* 令和2年度から、講座情報と催し物（イベント等）情報を分け、子ども向け情報を追記

イ 生涯学習情報コーナーに配架した生涯学習関連情報の件数

区分	年月													合計	前年度 合計
	4/4	5	6	7	8	9	10	11	12	5/1	2	3			
配架資料の種類	講座・催し物	133	105	210	158	102	293	188	173	149	181	160	209	2,061	1,689
	施設・おでかけ	2	0	0	1	1	4	0	0	4	1	1	3	17	52
	資格・試験	4	3	10	2	3	4	6	65	45	10	5	6	163	186
	機関紙・総合誌	52	39	61	38	20	74	50	44	44	47	31	60	560	640
	その他	5	3	28	18	9	15	4	11	18	1	11	7	130	135
計	196	150	309	217	135	390	248	293	260	240	208	285	2,931	2,702	

(2) 利用統計

ア 生涯学習情報コーナー利用実績表

区分	年月	年月											合計	一日平均	前年度		
		4/4	5	6	7	8	9	10	11	12	5/1	2			3	合計	一日平均
利用者数	開館日数	19	25	25	27	11	26	26	25	23	23	23	26	279	—	294	—
	閲覧のみ来館者数	240	334	332	427	133	2,176	1,759	1,410	1,156	1,569	1,492	1,386	12,414	44.5	4,806	16.3
	来館による相談者数	162	273	290	373	113	2,147	1,739	1,399	1,133	1,551	1,473	1,364	12,017	43.1	3,851	13.1
	電話等による相談者数	75	57	37	51	17	26	15	11	19	13	12	16	349	1.3	898	3.1
	その他	3	4	5	3	3	3	5	0	4	5	7	6	48	0.2	57	0.2

イ 生涯学習相談状況

区分	年月	年月											合計	一日平均	前年度		
		4/4	5	6	7	8	9	10	11	12	5/1	2			3	合計	一日平均
学習相談者数		78	61	42	54	20	29	20	11	23	18	19	22	397	1.4	955	3.2
学習相談件数		79	63	44	56	20	33	21	13	25	19	19	23	415	1.5	966	3.3

(学習相談の分野別内訳)

施設	講座・イベント	おでかけ	団体・グループ	指導者・人材	資格・試験	教材・機器	運営・利用等	体験活動・ボランティア情報	その他	計
5	59	22	11	9	32	0	0	4	273	415

前年度実績

1	40	14	7	14	25	3	816	2	44	966
---	----	----	---	----	----	---	-----	---	----	-----

ウ 「PLANETかながわ」の利用状況

区分	年 月 閲覧室名	4/4	5	6	7	8	9	10	11	12	5/1	2	3	合計	一日 平均	前年度	
		4/4	5	6	7	8	9	10	11	12	5/1	2	3	合計	一日 平均	合計	一日平均
システムの稼働日数		30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365	—	365	—
トップページへのアクセス件数		2,520	2,906	2,982	2,545	2,402	2,602	2,413	2,157	1,700	2,435	2,628	2,573	29,863	81.8	38,388	105.2
サブページへのアクセス件数	講座・イベントを掲載する	213	164	261	283	229	233	221	151	223	176	159	152	2,465	6.8	2,323	6.4
	指導者・人材に登録する	176	172	151	174	160	172	150	127	134	109	111	157	1,793	4.9	2,035	5.6
	団体・グループに登録する	114	121	130	153	142	140	137	90	107	119	100	117	1,470	4.0	1,636	4.5
	相談する	259	215	275	467	385	277	239	207	259	268	229	229	3,309	9.1	4,146	11.4
	大学で学ぶ	1,336	1,413	1,222	1,123	1,258	2,517	1,946	980	714	978	1,020	1,096	15,603	42.7	16,876	46.2
	生涯学習ボランティア	253	254	302	336	312	318	241	194	230	306	1,854	420	5,020	13.8	4,503	12.3
	ぶらり・かながわおでかけガイド	111	116	121	163	264	177	141	102	121	95	80	84	1,575	4.3	1,897	5.2
	読みもの	230	199	234	295	213	191	178	119	202	133	137	100	2,231	6.1	2,919	8.0
	サイトポリシー	107	104	109	172	113	126	108	82	87	88	87	62	1,245	3.4	1,485	4.1
	アクセシビリティについて	93	94	111	142	118	120	95	69	77	136	66	52	1,173	3.2	1,429	3.9
お問合せ	175	125	183	175	167	157	129	108	129	127	101	95	1,671	4.6	2,241	6.1	

*平成30年度「PLANETかながわ」リニューアルに伴い、ホームページの構成を変更

7 年度別統計

(1) 年度別蔵書冊数

	蔵書冊数	増減
昭和29年度	16,907	-
30	30,189	13,282
31	39,032	8,843
32	51,289	12,257
33	61,663	10,374
34	69,331	7,668
35	77,166	7,835
36	84,917	7,751
37	92,512	7,595
38	98,915	6,403
39	104,797	5,882
40	110,844	6,047
41	126,461	15,617
42	132,703	6,242
43	139,623	6,920
44	149,306	9,683
45	157,780	8,474
46	165,472	7,692
47	174,719	9,247
48	168,084	△ 6,635
49	178,510	10,426
50	185,256	6,746
51	192,777	7,521
52	200,170	7,393
53	208,096	7,926
54	215,672	7,576
55	228,607	12,935
56	243,406	14,799
57	256,866	13,460
58	270,036	13,170
59	430,925	160,889
60	301,332	△ 129,593
61	312,599	11,267
62	323,215	10,616
63	334,953	11,738
平成元年度	347,404	12,451
2	359,015	11,611
3	373,041	14,026
4	384,806	11,765
5	408,258	23,452
6	540,875	132,617
7	555,162	14,287
8	566,930	11,768
9	611,259	44,329
10	625,650	14,391
11	632,674	7,024
12	648,791	16,117
13	661,502	12,711
14	678,292	16,790
15	692,044	13,752
16	705,437	13,393
17	719,764	14,327
18	735,312	15,548
19	745,148	9,836
20	764,984	19,836
21	777,918	12,934
22	788,327	10,409
23	796,678	8,351
24	808,455	11,777
25	816,960	8,505
26	909,440	92,480
27	918,796	9,356
28	926,940	8,144
29	936,004	9,064
30	938,340	2,336
令和元年度	944,988	6,648
2	934,626	△ 10,362
3	954,141	19,515
4	966,561	12,420

(2) 年度別入館者数・個人貸出冊数

	開館日数	入館者数	貸出冊数
昭和29年度	100	77,104	
30	278	118,099	
31	274	112,459	2,343
32	275	112,441	22,689
33	286	155,862	35,070
34	276	138,876	38,012
35	275	140,412	39,209
36	275	142,219	35,981
37	277	145,093	40,728
38	279	141,833	33,879
39	274	137,340	30,612
40	273	133,679	26,573
41	265	117,226	19,164
42	273	131,525	23,438
43	273	124,451	27,007
44	271	127,786	29,559
45	270	126,194	29,489
46	273	130,733	40,864
47	256	126,695	29,260
48	271	183,863	52,840
49	270	201,153	71,710
50	276	208,017	76,241
51	272	205,606	81,518
52	271	218,198	90,647
53	271	218,080	90,488
54	271	203,226	76,310
55	256	183,434	71,426
56	247	166,803	68,532
57	274	180,042	77,022
58	272	185,146	80,711
59	254	214,032	77,792
60	271	229,067	79,077
61	271	259,717	88,723
62	273	273,003	86,108
63	270	276,440	105,248
平成元年度	270	272,652	95,819
2	269	296,899	98,741
3	271	303,576	113,212
4	271	317,583	127,656
5	262	372,059	134,300
6	269	317,201	92,390
7	270	288,987	75,544
8	269	277,021	64,711
9	269	295,484	55,288
10	270	334,410	50,319
11	247	310,244	44,454
12	280	310,518	61,708
13	282	312,103	62,834
14	282	307,830	68,262
15	287	325,494	69,656
16	288	300,027	64,067
17	284	255,949	59,813
18	289	234,481	64,318
19	290	260,393	75,519
20	296	251,284	79,947
21	296	261,212	79,505
22	292	250,895	77,796
23	294	230,669	76,748
24	296	223,024	74,869
25	297	203,719	73,116
26	296	191,849	69,476
27	293	183,624	66,951
28	294	177,670	63,149
29	294	168,237	57,376
30	297	142,708	64,937
令和元年度	299	143,349	65,114
2	258	75,040	61,866
3	299	111,819	64,827
4	276	170,724	57,741
累 計		14,324,588	4,290,299

※H29年度まで閲覧室貸出冊数のみ、H30年度より横浜西口カウンター貸出冊数を含む

8 その他統計

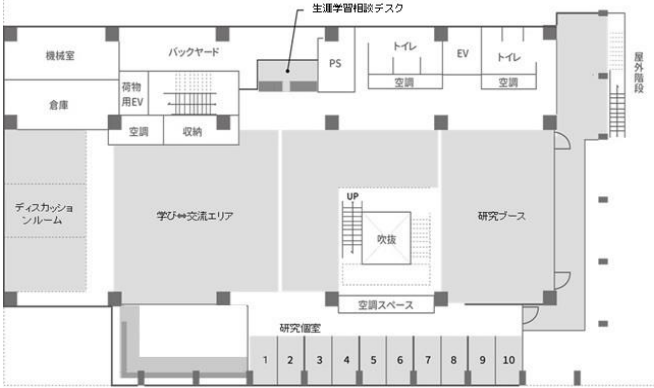
(1) 神奈川関係文献情報の作成

○ 入力実績

区分	年 月 開館日数	4/4	5	6	7	8	9	10	11	12	5/1	2	3	合計	一日 平均	前年度	
																累計	一日平均
文献索引データの入力		16	25	25	27	11	26	26	25	23	23	23	26	276	—	294	—
内	新聞記事	712	556	600	507	268	270	405	547	478	530	460	531	5,864	21.2	8,708	29.6
訳	雑誌文献	30	20	28	19	17	11	24	8	39	139	29	30	394	1.4	546	1.9

館内案内図

本館 4階



【アクセス】

- [電車でお越しの方]
 - ・JR、市営地下鉄 桜木町駅より徒歩10分
 - ・京浜急行 日ノ出町駅より徒歩13分
 - ・みなどみらい線 みなどみらい駅より徒歩20分
- [バスでお越しの方]
 - ・横浜市営バス103系統(横浜駅東口始発)
 - [戸部1丁目] 下車 徒歩5分
 - ・横浜市営バス[桜木町駅前] 経由の系統(横浜駅東口始発)ほか
 - [紅葉坂] 下車 徒歩7分
- [お車でお越しの方] ※駐車場(有料)
 - ・普通車 1台30分 200円 以降30分ごとに200円
 - ・大型車 1台30分 460円 以降30分ごとに460円
 - (各施設利用者の送迎、図書館資料の返却等のための15分未満の駐車および障害者が利用する場合の駐車は無料です。)

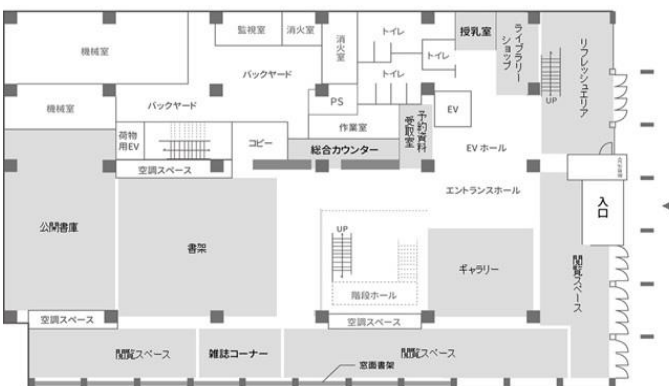
本館 3階



本館 2階



本館 1階



代表電話番号

県立図書館	045-263-5900
-------	--------------

直通電話番号

設置箇所	電話番号
管理課	045-263-5915
広報・生涯学習推進課	045-263-5916
企画協力課	045-263-5918
調査閲覧課	045-263-5919
地域情報課	045-263-5923
図書課	045-263-5921
情報整備課	045-263-5922
協力室	045-263-5909

令和5年度

神奈川県立図書館事業要覧

令和5年11月発行

編集発行

神奈川県立図書館
館長 江藤 政克
〒220-8585 横浜市西区紅葉ヶ丘9-2
TEL (045) 263-5900 (代表)

再生紙を使用しています



神奈川県

県立図書館

横浜市西区紅葉ヶ丘9-2 〒220-8585 電話(045)263-5900(代表)

<https://www.klnet.pref.kanagawa.jp/>